

取扱説明書



10.1 インチ HD デジタル液晶カラーモニター

ご使用の前には必ず使用説明書をお読みになり、お読みになった後は必ずお読みください。

アップグレード内容によっては、取扱説明書と異なる場合があります。

ソフトウェアのバージョンまたはパフォーマンス。予告なしに変更されることがあります。

目次

1. ご注意.....	1
2. 機能と仕様.....	3
3. アクセサリー.....	4
4. 部品の識別.....	5
5. 接続.....	6
6. メニュー操作.....	7
6.1 IR リモコン.....	7
6.2 タッチスクリーン機能.....	8
7. メニュー.....	8
7.1 メニューの紹介.....	8
7.2 メニューロック.....	9
7.3 キーボード操作.....	11
7.4 手動記録.....	13
7.5 ビデオの再生.....	13
7.6 Log.....	16
7.7 表示モードスイッチ.....	16
7.8 システム設定.....	17
7.9 ディスクの管理.....	17
7.10 ボリューム.....	18
8. 録画設定.....	19
8.1 電源投入時の記録.....	19
8.2 循環記録.....	19
8.3 イベントの記録.....	20
8.4 ビデオ品質.....	21
8.5 記録チャンネル.....	23
8.6 イベント期間.....	23
8.7 ファイルの長さ.....	23
8.8 G-力感度.....	23
8.9 ファイルタイプ.....	23
8.10 オーディオの録音.....	24
9. ディスプレイ.....	24

9.1 カメラ表示設定.....	24
9.2 カメラ名の設定.....	25
9.3 システム言語の設定.....	26
9.4 オーディオ出力.....	26
9.5 OSD ディスプレイ	27
9.6 メニュー.....	27
9.7 スピード.....	28
9.8 GPS.....	29
9.9 反転機能.....	29
9.10 バックライト.....	30
10. ネットワーク.....	31
10.1 WLAN ネットワーク設定.....	32
10.2 ネットワークの状態.....	32
11. システム.....	33
11.1 ログイン設定.....	33
11.2 ライセンスプレート番号.....	34
11.3 システムの時計設定.....	34
11.4 予約録画.....	37
11.5 例外.....	38
11.6 ACC.....	39
11.7 アラーム.....	40
11.8 アップデート.....	43
11.9 構成.....	45
11.10 システムインフォメーション	46
11.11 AI.....	46
付録:よくある質問と回答.....	48

1. ご注意

● 保管

- 1) 保管時の温度は-30～+80℃、使用時の温度は-20～+70℃、湿度は Rh90%とし、過度の高温や低温にはさらさないでください。
- 2) 浴槽、洗面台、台所、湿気の多い地下室、プール等の近くでは絶対に使用しないでください。
- 3) 湿気やほこり、煙の多い環境では絶対に使用しないでください。
- 4) 落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 5) 密閉された場所、振動の激しい場所、強い衝撃を受ける場所では絶対に使用しないでください。
- 6) このデバイスに穴を開けたり、傷をつけたり、研磨剤を使用したりしないでください。
- 7) ケーブルを挟んだり、踏んだりするような場所に置かないでください。
- 8) 装置の周囲の空気が十分に循環するように、モニターと壁、キャビネット、またはその他の物との間に少なくとも2インチのスペースを空けてください。
- 9) モニターは防水設計されていません。

● 使用上の注意

- 1) 装置は、DC 電源 10 V-32 V(例えば、12 V または 24 V ACC)によって給電することができます。
- 2) すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認し、極性をチェックしてください。ケーブルの接続が不適切な場合、モニターが破損する可能性があります。デバイスを使用しない場合は、電源ケーブルの接続を取り外してください。



警告!

1. モニター内部に高電圧がかかっています。ケースの開封は専門家が行う必要があります。
2. ディスプレイを監視している場合を除き、運転中にビデオを見ないでください。



特記事項

場合によっては、LCD 画面にハイライトやダークスポットが発生することがあります。これはアクティブマトリクスディスプレイ技術では非常に一般的な現象であり、必ずしも欠陥や障害を示すものではありません。

この装置を自分で修理しようとししないでください。問題が発生した場合は、すぐにディスプレイの電源を切り、当社または正規販売店にご連絡ください。このモニターは複雑な装置であり、分解や改造を行うと破損し、保証が無効になる可能性があります。

● メンテナンス

- 1) デバイスをクリーニングする前に、モニターからすべてのケーブル接続を取り外します。
- 2) 低刺激性の家庭用洗剤を使用し、軽く湿らせた柔らかい布でユニットを清掃します。
- 3) シンナーやベンジンなどの強力な溶剤は、デバイスの仕上げを損なう可能性があるため、絶対に使用しないでください。

	注意	
	感電の危険があります。 開けないでください。	
注意:感電の危険を減らすため、カバー(または背面)を取り外さないでください。 内部にはユーザーが保守可能な部品はありません。 保守は、資格のある保守担当者に依頼してください。		



この記号は、人体に対する感電の危険を構成するのに十分な大きさの、絶縁されていない「危険電圧」が製品の筐体内に存在することをユーザーに警告することを目的としています。



この記号は、アプライアンスに付属のマニュアルに操作および保守(サービス)に関する重要な指示が記載されていることをユーザーに警告するためのものです。



このシンボルは、電気および電子機器を回収およびリサイクルのために別々の収集施設に廃棄することをユーザーに警告することを目的としています。

注意

このマニュアルで明示的に承認されていない変更または修正は、お客様の保証を無効にし、高額な修理を必要とする可能性があることに注意してください。

2. 機能と仕様

- 1) 10 インチ HD クアッドビューモニタ、解像度は 1024 x 600 です。
- 2) 4 HD カメラ入力とスプリットビュー表示モードをサポート。
- 3) 複数のビデオ形式を使用可能:1080P30/1080P25/720P30/720P25/PAL/NTSC
- 4) さまざまな表示モードを使用できます。
- 5) 各チャンネルは、水平ミラー表示と垂直ミラー表示の独立した画像調整をサポートしています。
- 6) ジェスチャ検出機能付きキャパシティブタッチスクリーン、アイコンメニュー操作をサポート。
- 7) リモート操作をサポートします。
- 8) 5本のトリガーワイヤーで、トリガー表示画像、遅延、優先順位を調整できます。
- 9) 駐車場調節可。
- 10) LCD バックライトの 60 段階の手動調整をサポートします。
- 11) 多言語対応(英語、ロシア語、中国語)。
- 12) 1.5W スピーカー付き。
- 13) ワイド電圧入力:10~32 V、12 V または 24 V の自動車用バッテリーに対応、短絡保護付。
- 14) 記録用に最大 2 枚の micro SD カード(カードあたり最大 512GB)と 1 枚の SSD(最大 2 TB)をサポートし、4 チャンネルのオーディオおよびビデオの同期記録をサポートし、イベントトリガー記録をサポートします。
- 15) WLAN をサポートしており、ユーザーはブラウザから Web インターフェイスにログインしてレビューと設定を行うことができます。
- 16) 屋内/屋外のセキュリティシステム、車両および船舶の監視に適用できます。
- 17) CE/FCC 規格への適合



特記事項

付属品の供給は、機能によって異なる場合があります。

3. アクセサリー

 U-サポートブラケット	 センターマウントブラケット
 サン・シールド	 IR リモコン
 角度調整ネジ	 電源ケーブル



特記事項

付属品の供給は、用途によって異なる場合があります。

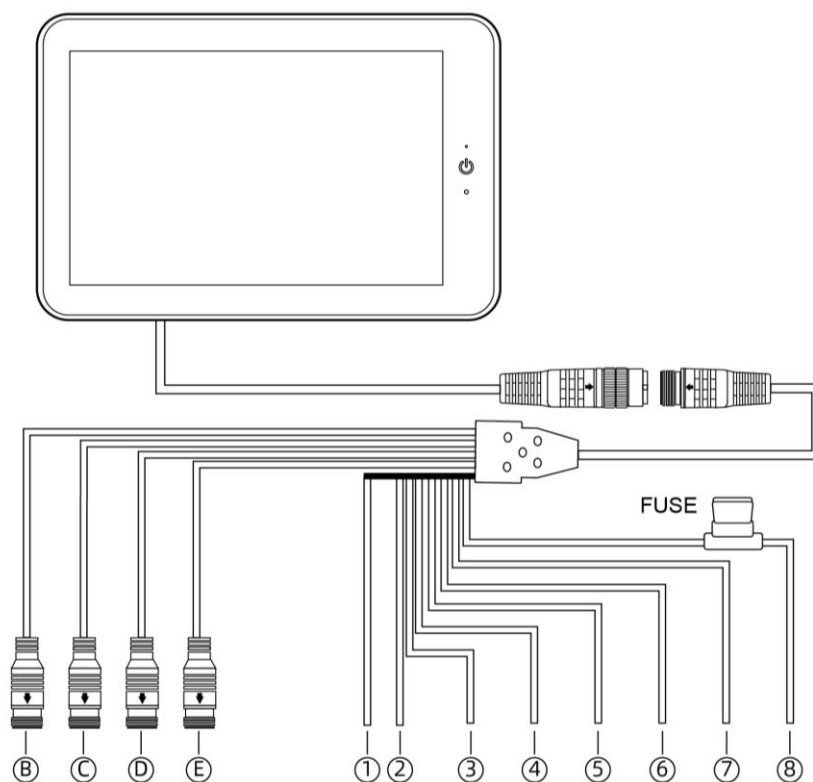
4. 部品の識別



- ① ライトセンサー
- ② 電源ボタン
- ③ リモコン受光部
- ④ micro SD カード スロット×2
- ⑤ SSD スロット

※注意 micro SD をスロットルに挿入する際は、SSD スロットル側に落下しないようご注意ください。

5. 接続

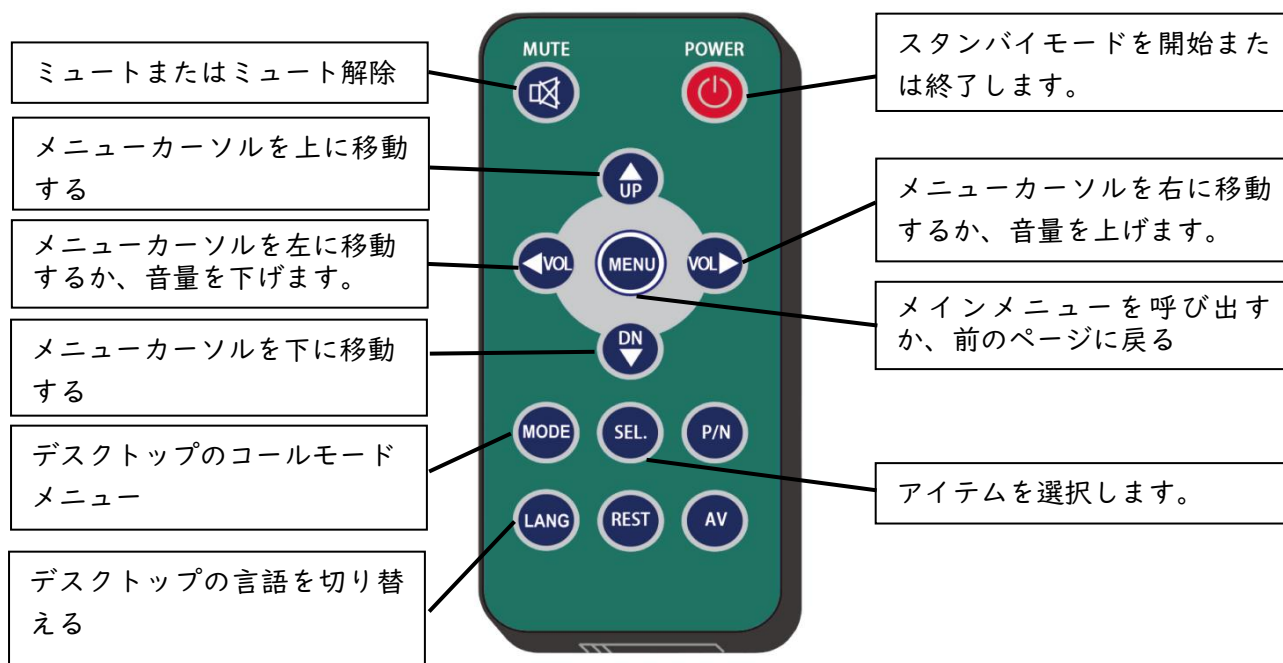


- (B)カメラ1の白の4P オス。
- (C)カメラ2の青の4P オス
- (D)カメラ3の緑の4P オス。
- (E)カメラ4の茶色の4P オス。

- ① カメラ1のトリガー線白いワイヤー。
- ② カメラ2のトリガー線青いワイヤー。
- ③ カメラ3のトリガー線緑色ワイヤー。
- ④ カメラ4のトリガー線茶色ワイヤー。
- ⑤ 常時4画面トリガー線黄色ワイヤー。
- ⑥ 車両 ACC プラス電源線オレンジ色ワイヤー。
- ⑦ グランド線黒色ワイヤー。
- ⑧ DC:10-32V 電源線赤色ワイヤー。

6. メニュー操作

6.1 IR リモコン

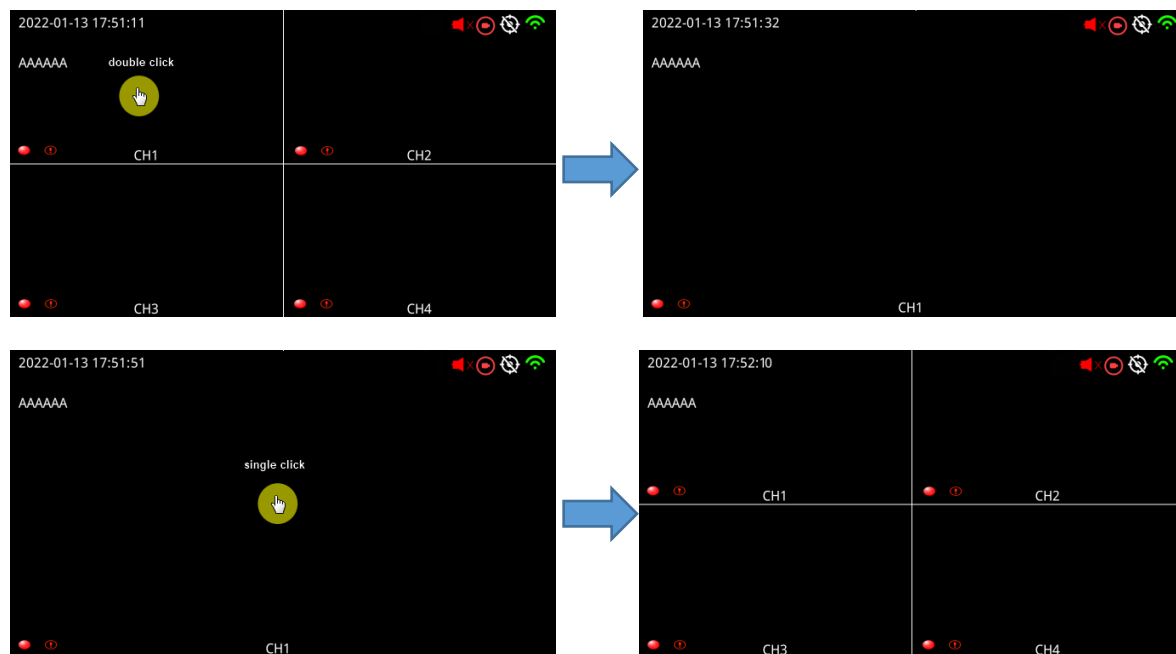


リモコン

- **MUTE:**
モニターをミュートまたはミュート解除します。
- **Power:**
スタンバイモードを開始または終了します。
- **VOL ▷ :**
音量調整メニューを開きます。
メニューカーソルを右に移動します。
- **VOL ◁ :**
音量調整メニューを開きます。
メニューカーソルを左に移動します。
- **UP:**
メニューカーソルを上移動します。
- **DOWN:**
メニューカーソルを下移動します。
- **MENU:**
メインメニューを呼び出すか、前のページに戻る
- **MODE:**
デスクトップのコールモードメニュー
- **LANG:**
デスクトップの言語を切り替える
- **SEL.:**
アイテムを選択します。

6.2 タッチスクリーン機能

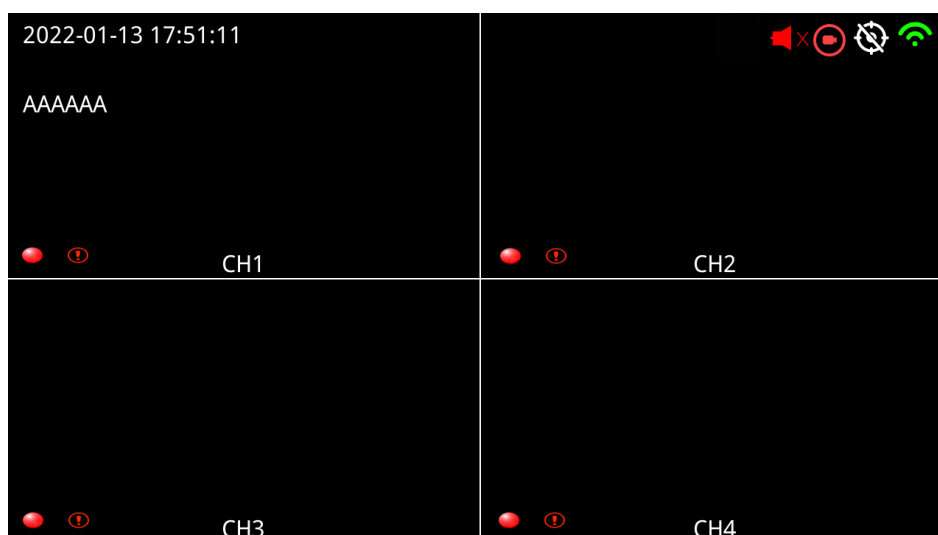
分割モードでメニューが表示されていない場合、1つのチャンネルをダブルクリックすると、そのチャンネルの単一画面に切り替わります。もう一度クリックすると、元の分割画面に戻ります。その他のメニュー操作については、該当する項を参照してください。

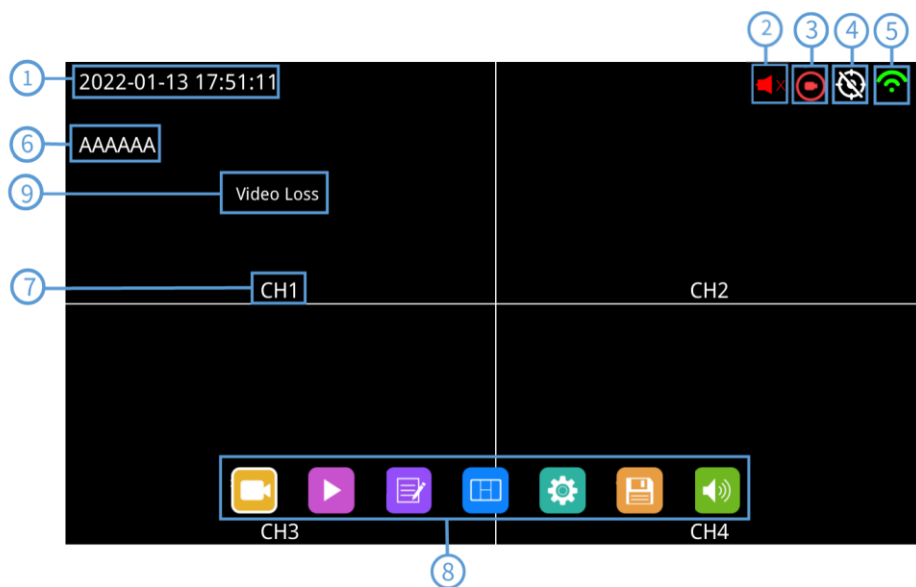


7. メニュー

7.1 メニューの紹介

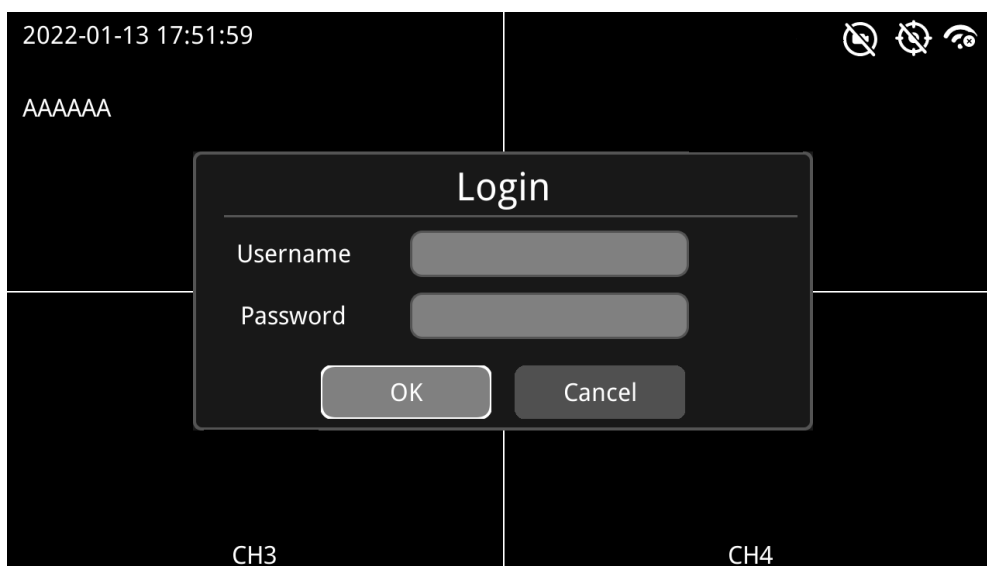
ログインする前に、リモートコントロールの[MENU]ボタンを押すか、タッチスクリーンの下部をクリックすると、LCD スクリーンにメニューインターフェイスが表示されます。メニューの詳細な内容にアクセスするには、まずログインする必要があります。ログインすると、すべての設定にアクセスできます。





- | | |
|--------------|---------------------------------|
| ①システム時刻 | ②ミュートアイコン(ミュート中に表示されます) |
| ③撮影アイコン | ④GPS 信号アイコン:接続時は点滅、接続時は長時間点灯 |
| ⑤無線 LAN アイコン | ⑥ナンバープレート番号 |
| ⑦チャンネル名 | ⑧メニューゾーン:クリックするとメニューアイコンが表示されます |
| ⑨映像消失警報 | |

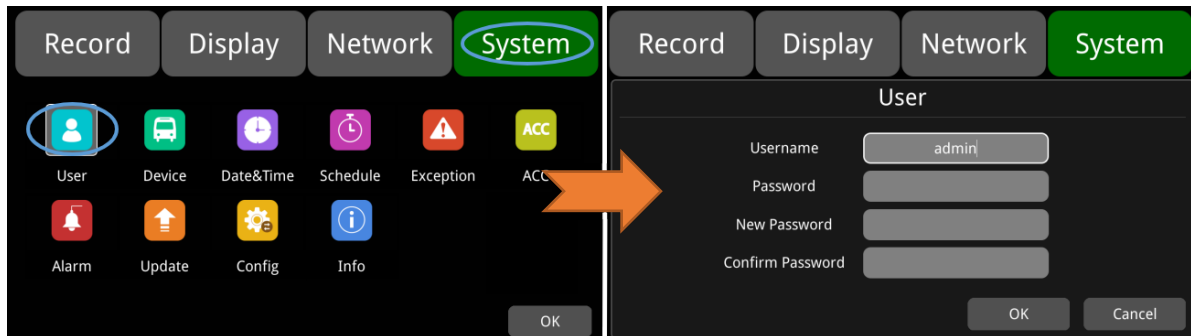
7.2 メニューロック



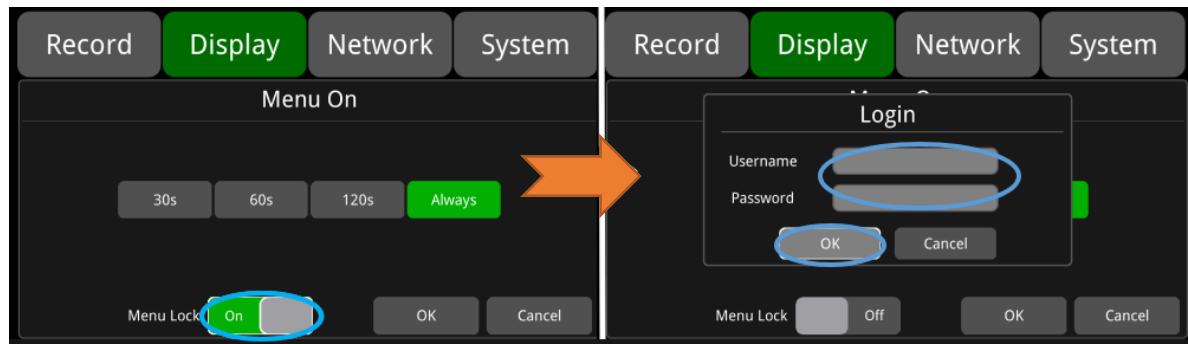
- 管理者アクセスとゲストアクセスの 2 種類のメニューアクセス
- ユーザー権限リスト

	管理者	ゲスト
ユーザーネーム	admin	guest
初期設定パスワード	123	321
メニューアクセス	すべて	再生メニュー、表示モードメニュー、 音量メニューのみ
		

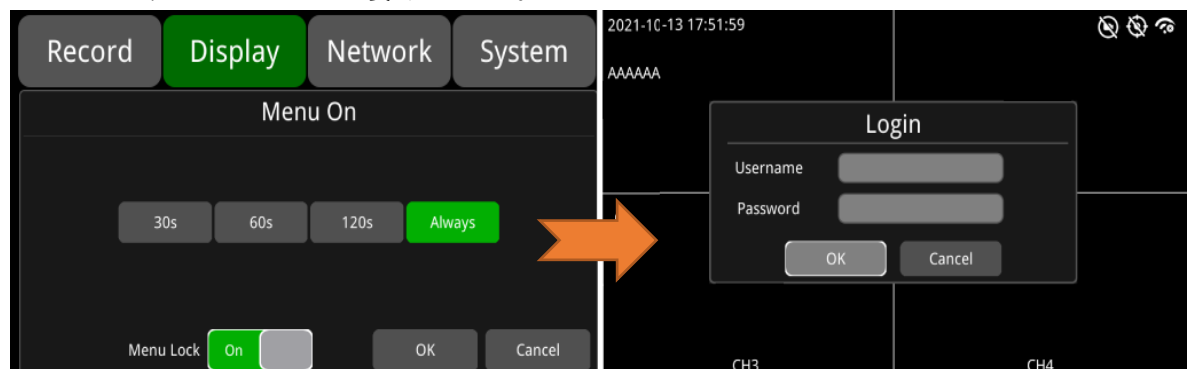
- ユーザー名は変更できませんが、パスワードは変更できます。ゲストは設定メニューにアクセスできないため、パスワードの変更はできません。(パスワードの変更については、以下の手順を参照してください)



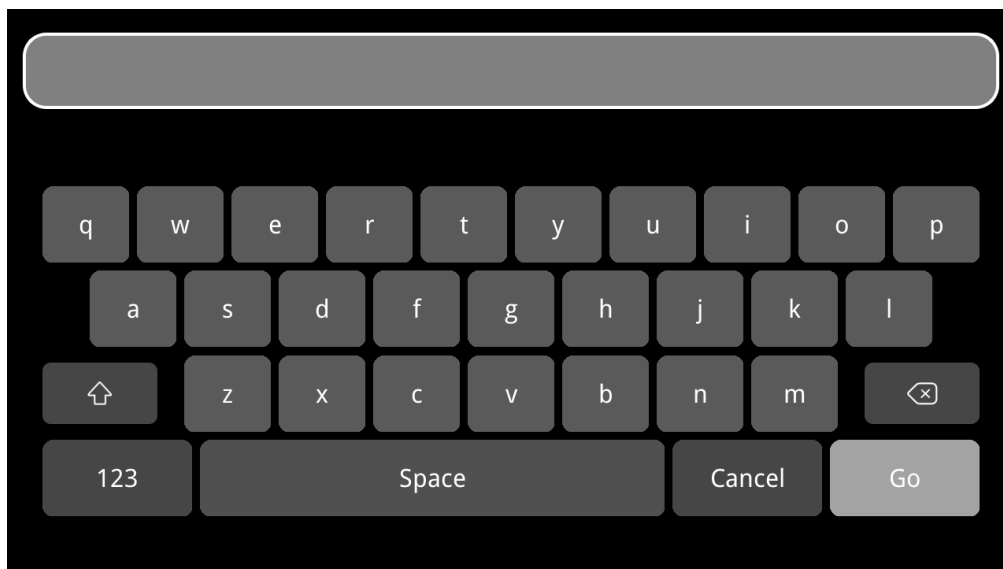
- メニューロック状態を変更するには、ユーザー名 admin とパスワードが必要です。次の図は、メニューロック状態を「オン」から「オフ」に変更する方法を示しています。



- メニューロック状態が「オン」の場合、「記録」、「再生」、「ログ」、「設定」、「ディスク」などのメニューにアクセスするには、ユーザー名 admin とパスワードを入力する必要があります。ユーザー名 guest とパスワードでは、「再生」メニューにしかアクセスできません。「レイヤー切り替え」と「音量調整」は、情報を入力しなくても開きます。メニューロック状態が「オフ」の場合、すべてのメニュー設定を入力するのにユーザー名とパスワードは必要ありません。



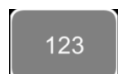
7.3 キーボード操作



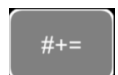
: 大文字/小文字の切り替え



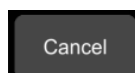
: 設定の保存後に終了する



: 数値に切り替え



: 特殊文字に切り替える



: 設定を保存せずに終了する

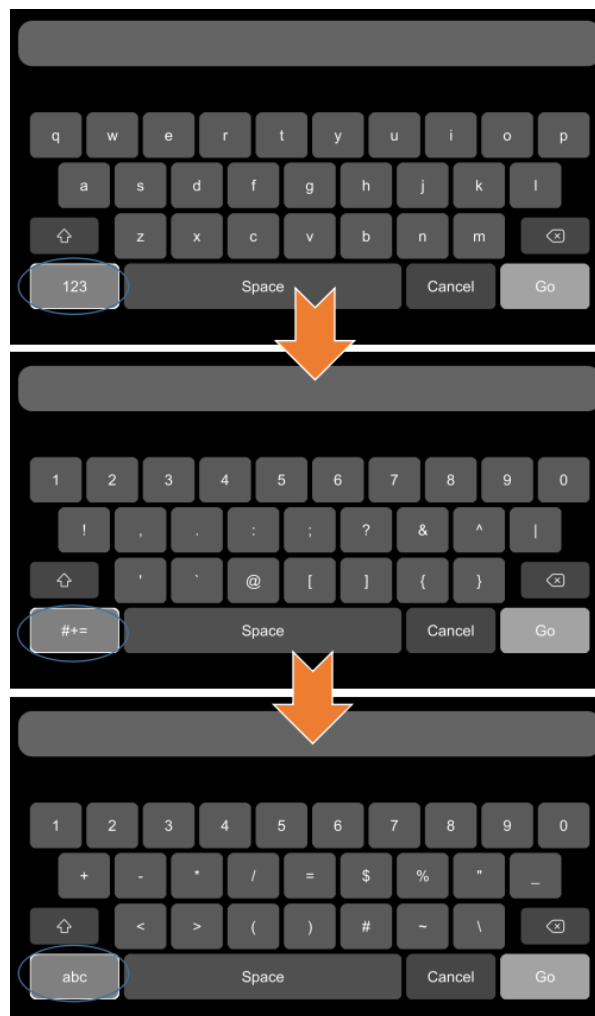


: 入力文字の削除

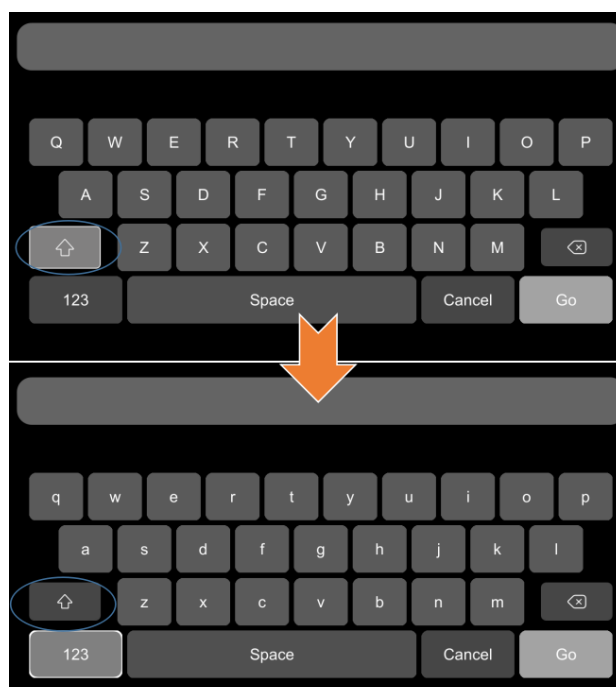


: 英語に切り替え

文字の切り替え：



大文字/小文字の切り替え：



7.4 手動記録



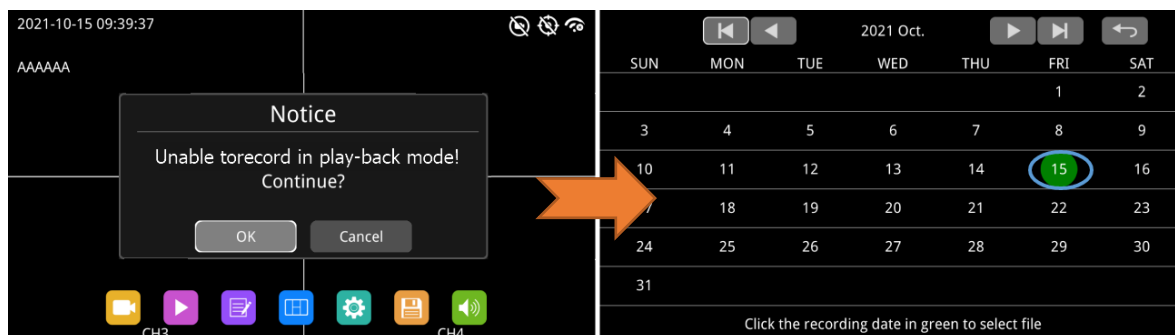
録音ボタン:このボタンをクリックするか、このボタンを選択してからSELボタンを押して、録音を閉じたり開いたりします。

7.5 ビデオの再生



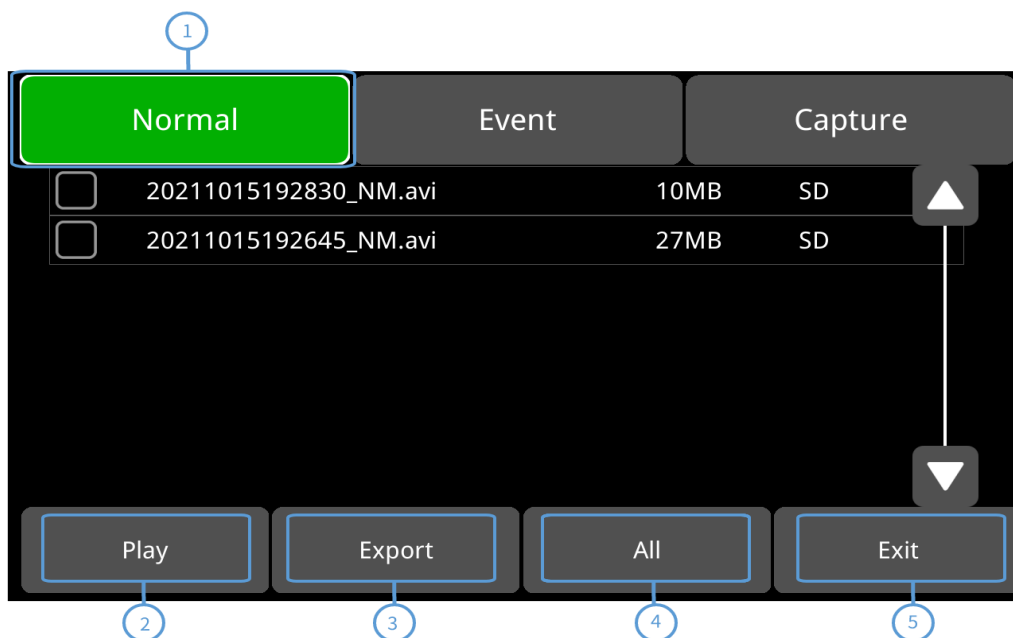
ビデオ再生ボタン:このボタンをクリックするか、このボタンを選択して SEL ボタンを押します。録画カレンダーが表示されます。プロンプトダイアログボックスに「再生モードで録画できません!続行しますか?」と表示されます。続行するには「OK」を押します。カレンダーインターフェイスの日付が緑色で表示されている場合は、その日に記録されたファイルが保存されていることを意味します。このアイコンを押してビデオファイルリストに入り、再生したいビデオファイルを選択し、[再生]ボタンを押します。一度に 1 つまたは複数のビデオを選択できます。複数のビデオを順番に再生したり、次または前のビデオに切り替えたりできます。具体的な操作は以下のとおりです。

● カレンダーインターフェイス



◀ ▶ : 月を切り替えます。

⏮ ⏭ : 年を切り替えます。

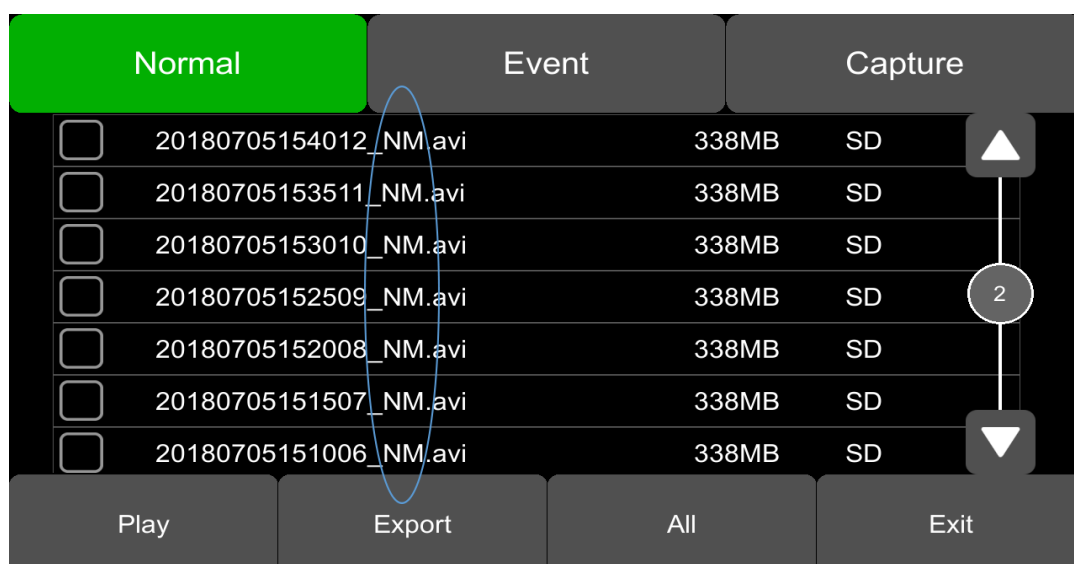


● 録音リストインターフェイス(1)

- ① 記録タイプ・ボタンを選択します。通常とイベントの 2 つの記録タイプがあります。現在、取得はサポートされていません。
- ② **Play**: 選択したビデオファイルを再生します。
- ③ **Export**: 選択したビデオファイルを書き出します。
- ④ **All**: そのページのすべてのファイルを選択します。
- ⑤ **Exit**: 終了します。

● 録音リストインターフェイス(2)

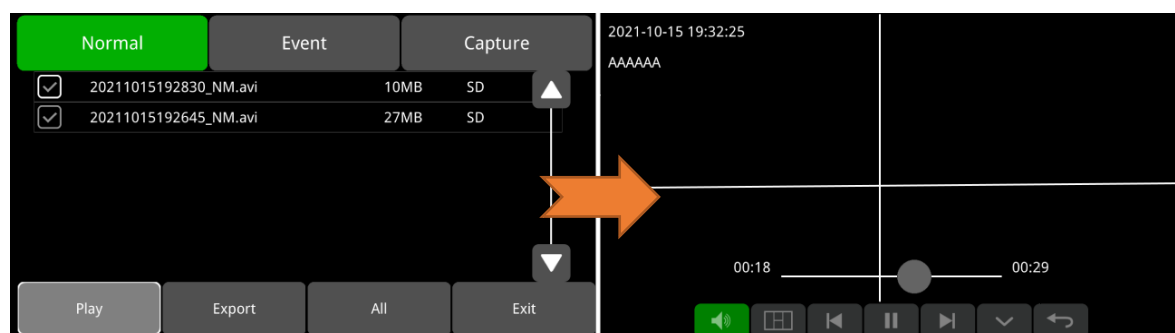
ファイル名には、記録タイプを識別するのに役立つ記録タイプの略語が含まれています。



記録タイプの省略形は次のとおりです。

NM	通常録画/手動録画	TI	タイマー録音
GS	G センサアラーム記録 (簡易モード)	SP	速度超過警報の記録 (速度源は GPS)
A1	アラーム 1 の録音	A2	アラーム 2 の録音
A3	アラーム 3 の録音	A4	アラーム 4 の録音
A5	アラーム 5 の録音		

● 再生インターフェイス



: 音量調整ボタン



: ビデオ再生分割モードボタンをクリックして、分割画面を単一画面に、または単一画面をセグメント化モードに切り替えます。



: 前または次のビデオを再生します。



: 再生を一時停止または再開します。



: 再生メニューを表示または非表示にします。

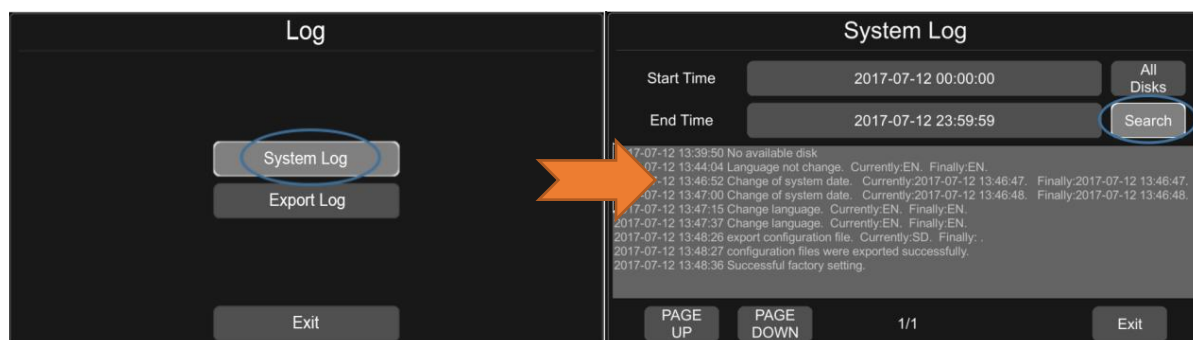


: 再生を終了します。

7.6 Log



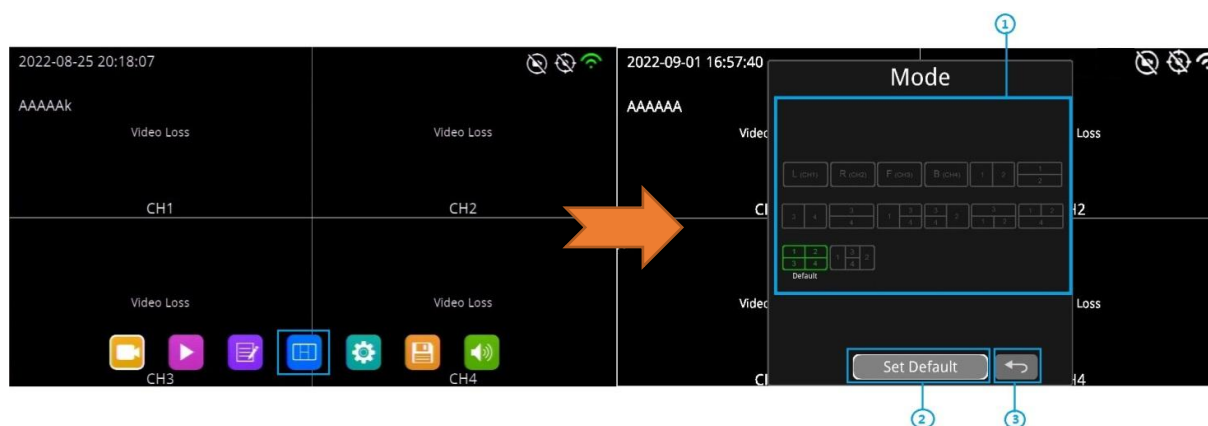
[System log]ボタン:このボタンをクリックするか、このボタンを選択して[SEL]キーを押し、システムログを照会またはエクスポートするログインターフェイスに入ります。



7.7 表示モードスイッチ



ディスプレイモードボタン:このボタンをクリックするか、このボタンを選択して SEL ボタンを押し、ディスプレイモード切り替えインターフェイスを開始します。



①モード選択

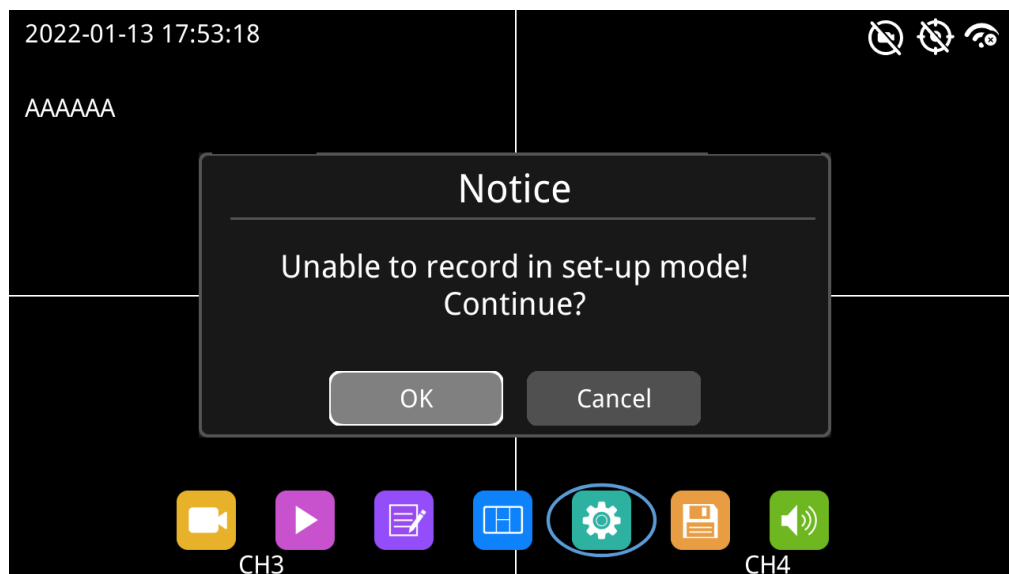
②このボタンを押すと、現在選択されているモードがデフォルトモードに設定されます。

③クリックして終了します。

7.8 システム設定



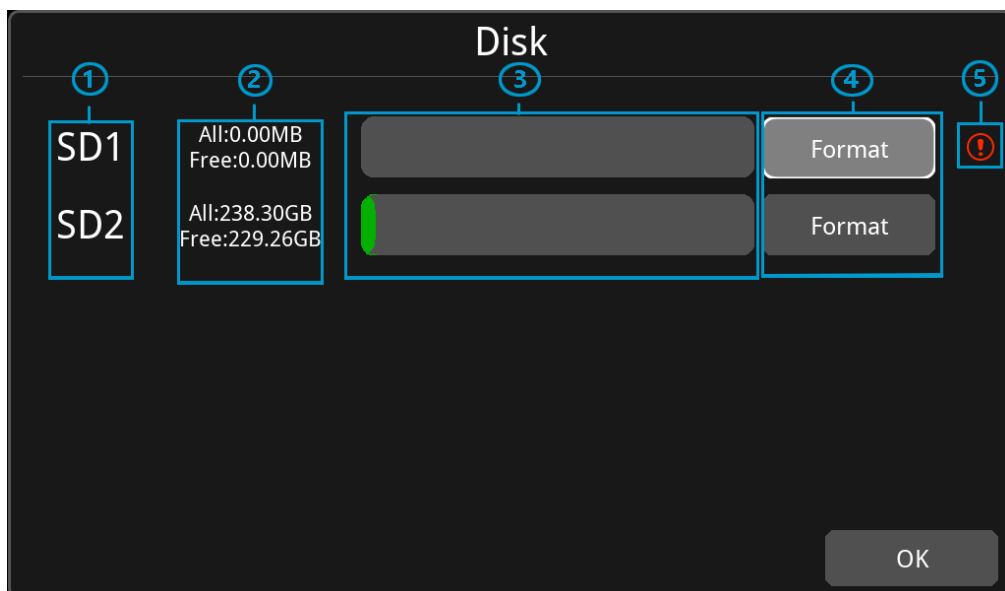
[システム設定]ボタン:このボタンをクリックするか、このボタンを選択してSEL ボタンを押すと、設定メニューが表示されます。プロンプトダイアログボックスに「セットアップモードで録画できません!続行しますか?」と表示されます。[OK]を押して入ります。



7.9 ディスクの管理



ディスク管理ボタン:ストレージ・デバイスのステータスを表示するには、このボタンをクリックするか、このボタンを選択してSEL ボタンを押します。
ストレージ・デバイスが挿入されていない場合は、「No Disk Available」というプロンプトが表示されます。

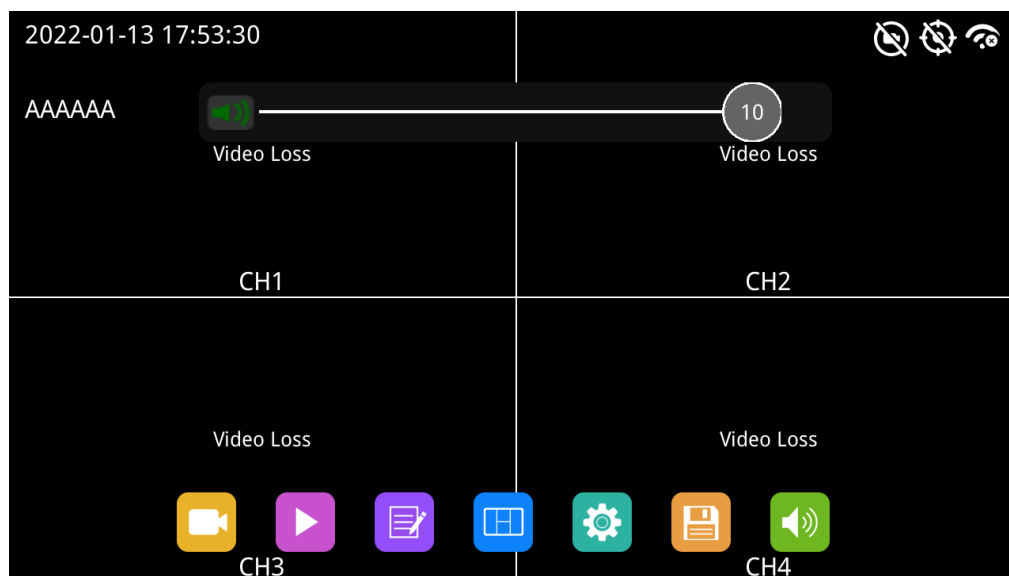


- ① ディスク・タイプ
- ② ディスクの容量です。
 - **All:** ストレージ・デバイスの総容量。
 - **Free:** 残りの使用可能なストレージ。
 - allが0.00 MBと表示されている場合は、モニターがそのようなディスクにアクセスできないことを意味します。
- ③ ディスク容量バー。
 - 緑は、「標準」リスト内のすべての記録ファイルのサイズを表示します。
 - 黄色は、上記以外のすべてのファイルのサイズを表示します。
- ④ このボタンを押して、SD カードをフォーマットします。
 - 「SDI card data will be deleted! Continue?」と表示されます。「OK」を押してディスクのフォーマットを開始します。
 - フォーマットできない場合は、ディスクが破損していないか確認してください。
- ⑤ これは、ディスクを使用する前にフォーマットする必要があることを示します。
 - 通常、すべての新しいディスクは使用前にフォーマットする必要があります。

7.10 ボリューム



ボリューム調整:0～10のスケールで、既定は10です。



機能	最小	最大	初期設定
ボリューム	0	10	10

8. 録画設定



8.1 電源投入時の記録



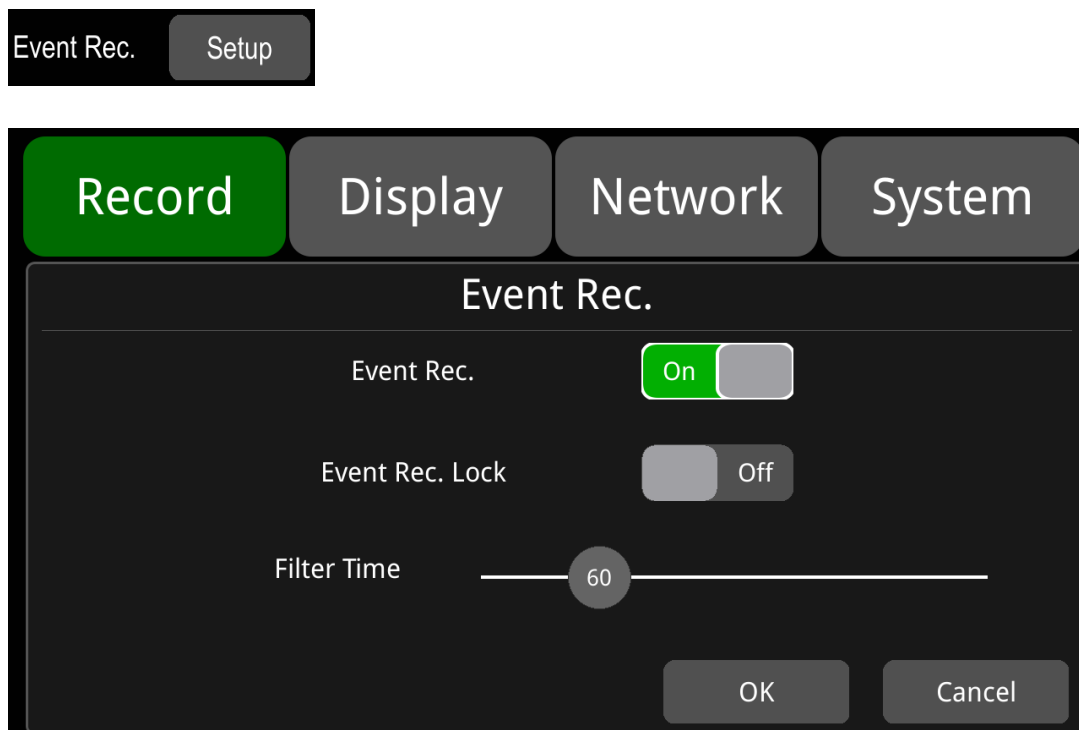
Power-on recording: このオプションがオンに設定されている場合、システムは電源投入後に記録を開始します。この機能はデフォルトでオンに設定されています。

8.2 循環記録



Cyclic recording: 周期的な記録がオンに設定されている場合、ディスクがいっぱいになると、新しいビデオファイルが以前のビデオファイルを上書きします。そうでない場合は、ディスクがいっぱいになると記録が停止します。この機能はデフォルトでオンになっており、すぐに記録ファイルを上書きします。

8.3 イベントの記録



Event recording: イベント記録のタイプには、加速度センサトリガーアラームと 1~5 トリガーアラームがあります。イベント記録がオンでアラームパラメータが設定されている場合、上記のイベントが発生したときにイベント記録がトリガーされます。イベント記録がオフの場合、イベントが発生してもイベント記録はトリガーされません。この機能はデフォルトでオンに設定されています。

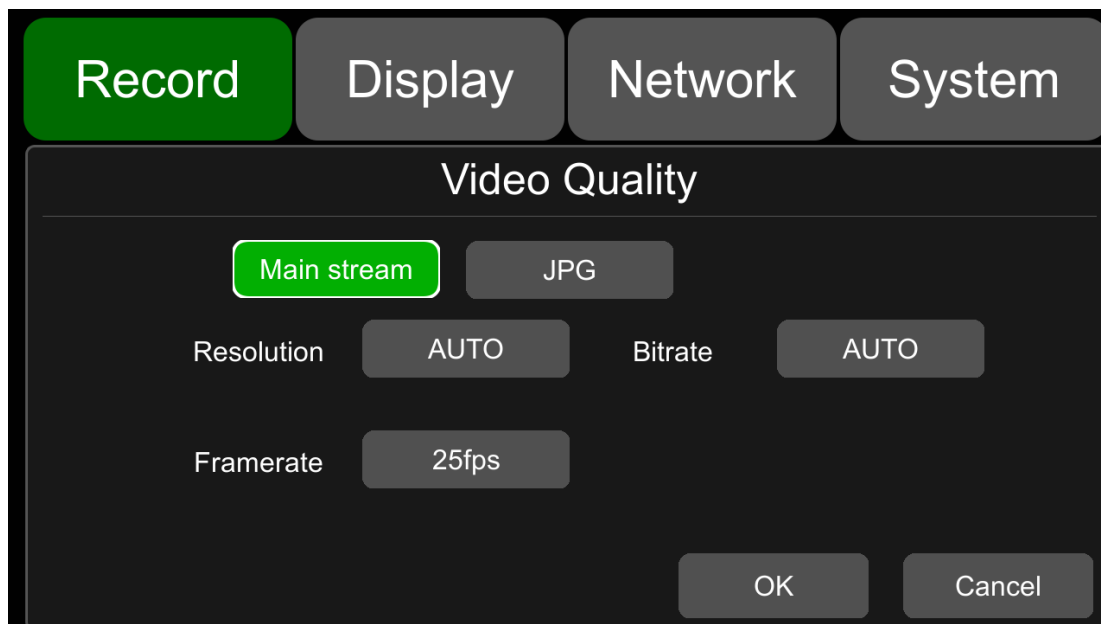
Event recording lock: オフの場合、ディスク記憶域の 20%がイベント記録に使用されると、新しいイベント記録は最も古い記録ファイルの上書きを開始します。オンに設定すると、記録の上書きは通常の記録のみを対象とし、イベント記録は対象となりません。既定の設定はオフです。

Filter time: 時間フィルタリング。上の図に示すように、同じアラームが継続的にトリガーされる場合、アラームメッセージは 60 秒ごとに生成され、60 秒ごとに新しいアラーム記録が生成されるかどうかを検出されます。フィルタリング時間の最小値は 1 秒、最大値は 300 秒です。デフォルト値は 60 秒です。

8.4 ビデオ品質



メインストリームはビデオストレージ用で、JPG は WLAN ストリーミング用です。



Main stream と JPG のデフォルト設定は次のとおりです。

	Main Stream	JPG
Resolution	自動	なし
Bitrate	自動	なし
Framerate	25fps	低い

①メインストリームで使用可能な 5 つの解像度オプション: 1080P、720P、D1 (PAL)、D1 (NTSC)、AUTO。解像度が高いほど、ビデオの品質が高くなり、ビデオファイルが大きくなります。設定時には、すべての要素を考慮する必要があります。

"Resolution"オプションでは、"AUTO"は次のように定義されています。

	メインストリーム
AUTO	モニターはカメラ形式を識別し、その形式のビデオを記録します。

② メインストリームメニューで使用できるビットレートには、4 Mbps、2 Mbps、1 Mbps、512 Kbps、256 Kbps、128 Kbps、64 Kbps、AUTO の 8 つのレベルがあります。ビットレートが高いほど、イメージが鮮明になり、記録ファイルが大きくなります。設定時には、すべての要素を考慮する必要があります。

"Bitrate" オプションでは、"AUTO" は次のように定義されます。

	メインストリーム
AUTO	1080p カメラが接続されている場合、ビットレートは 4 Mbps です。同様に、720p カメラの場合は 2 Mbps、d1 カメラの場合は 1 Mbps です。

③ フレームレートメインストリームメニューでは、30 fps、28 fps、25 fps、20 fps、15 fps、14 fps、10 fps、5 fps の 8 つのレベルのフレームレートを使用できます。フレームレートが高いほど、イメージは滑らかになり、記録ファイルが大きくなります。設定時には、すべての要素を考慮する必要があります。

ストレージ・デバイスの容量	ビデオ品質	ファイルの長さ
2TB	4 x 1080P / 4Mbps	≈298h
	4 x 720P / 2Mbps	≈596h
	4 x D1 / 1Mbps	≈1193h
	1 x 1080P / 4Mbps	≈1200h
	1 x 720P / 2Mbps	≈2400h
	1 x D1 / 1Mbps	≈4772h
512GB	4 x 1080P / 4Mbps	≈75h
	4 x 720P / 2Mbps	≈149h
	4 x D1 / 1Mbps	≈298h
	1 x 1080P / 4Mbps	≈298h
	1 x 720P / 2Mbps	≈596h
	1 x D1 / 1Mbps	≈1193h

④ JPG フレームレートには、Excellent、High、Mid、Low の 4 つのオプションがあります。

Excellent	画像が Web ページにアップロードされる速度は無制限(最速)であるため、最も滑らかな画像効果がレンダリングされます。
High	アップロード速度:1 イメージにつき 1 秒
Medium	アップロード速度:1 イメージにつき 3 秒
Low	アップロード速度:1 イメージにつき 5 秒

8.5 記録チャンネル



録画チャンネルを選択します。選択したチャンネルは通常のビデオを録画します。

8.6 イベント期間

既定の設定は次のとおりです。



イベント記録がオンの場合、ファイル長を 5 秒、10 秒、15 秒に設定できます。

8.7 ファイルの長さ

AVI 形式の既定の記録ファイルの長さは 5 分です。



AVI 形式のビデオファイルの長さは、5 分、10 分、15 分に設定できます。

ファイルフォーマット	ファイルの長さ
AVI	5 分、10 分、15 分

8.8 G-力感度



- デフォルトの設定は上記のとおりです。
- G センサの記録と感度レベルの設定: G センサの加速度またはジャイロスコープが設定された感度値に達すると、G センサの記録がトリガーされます。この種のイベント記録では、記録前の時間は 15 秒に設定され、イベント後の時間は上記のイベント期間によって設定されます。
- 総ビデオファイル長は、録画前のファイル長(デフォルトは 15 秒)に、[Event Duration]で設定されたファイル長を加えたものになります。
- G センサトリガー記録がオフの場合、イベント記録はトリガーされません。G センサー感度は、低/高の 2 つのレベルに設定できます。低/高を選択すると、G センサトリガー記録がオンになります。オフを選択すると、G センサトリガー記録がオフになります。

8.9 ファイルタイプ



ビデオ形式を設定します。現在は AVI 形式のみが使用可能です。

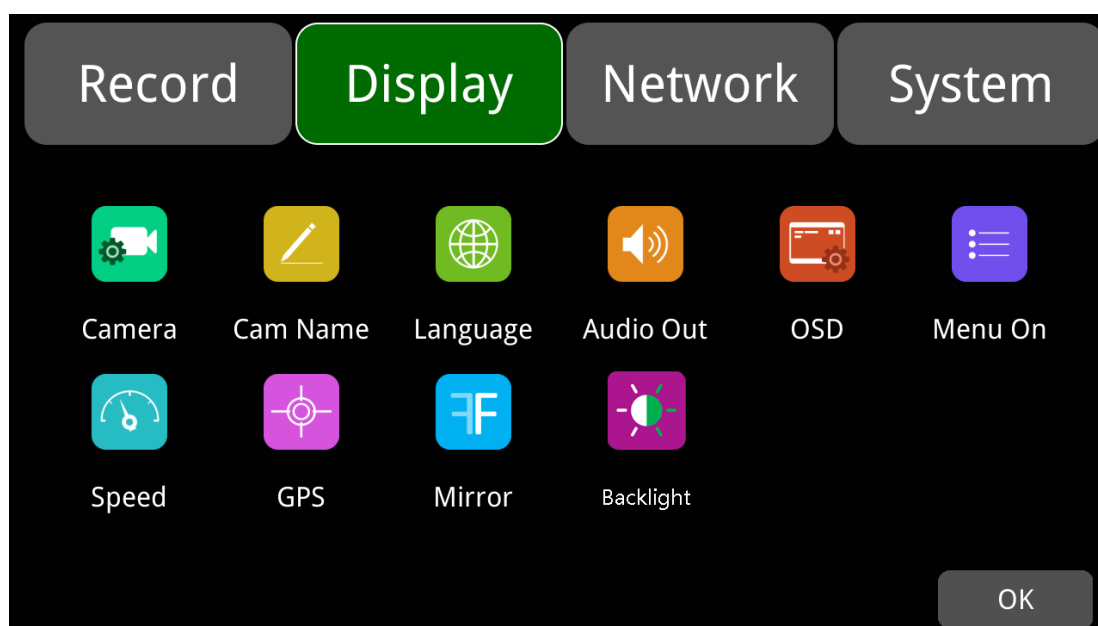
8.10 オーディオの録音

Record Audio

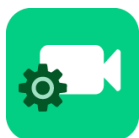
Setup

チャンネルの録音オーディオを設定します。録音チャンネルを選択すると、そのチャンネルのオーディオが録音ファイルに録音されます。このチャンネルを選択しないと、このチャンネルの録音にオーディオは含まれません。

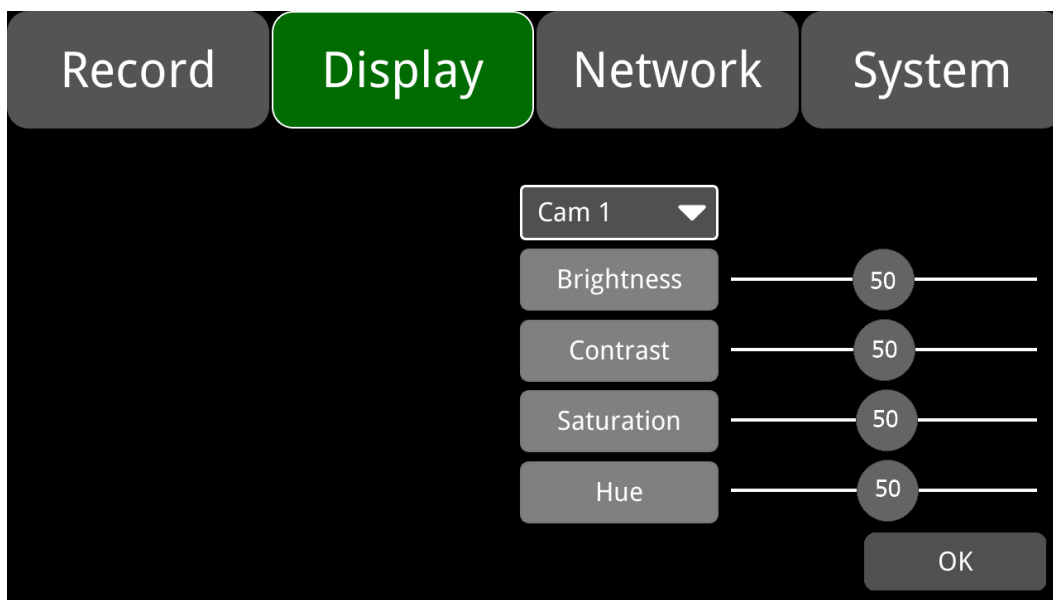
9. ディスプレイ



9.1 カメラ表示設定



各チャンネルのカメラパラメーター設定には、明るさ、コントラスト、彩度、色相があります。各チャンネルの明るさ、コントラスト、彩度、色相の初期設定値は下図のとおりです。値を変更するには、バーを左右にドラッグして増減します。

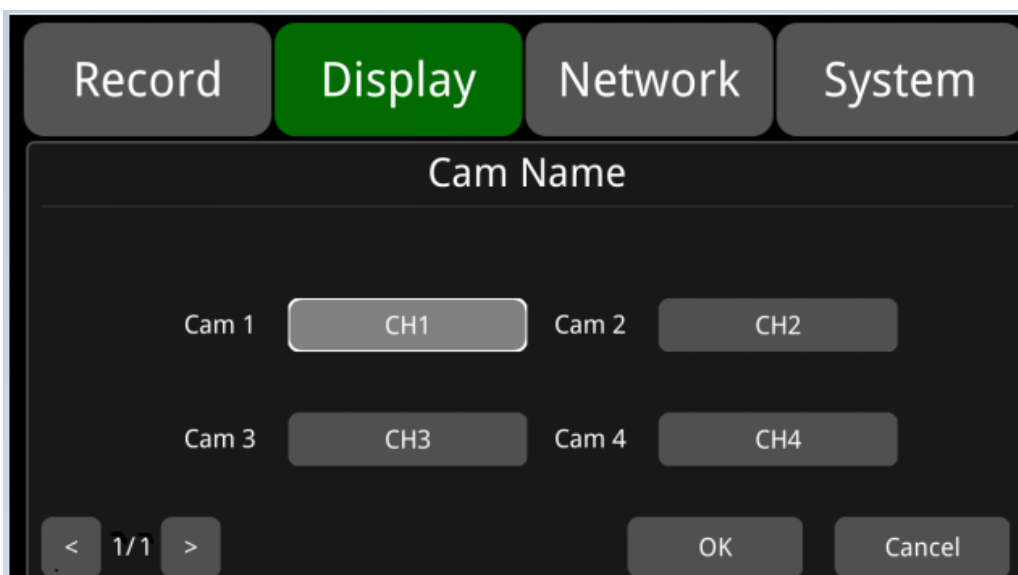


カメラディスプレイ	最小	最大	初期設定
Brightness(明るさ)	0	99	50
Contrast(コントラスト)	0	99	50
Saturation(彩度)	0	99	50
Hue(色相)	0	99	50

9.2 カメラ名の設定



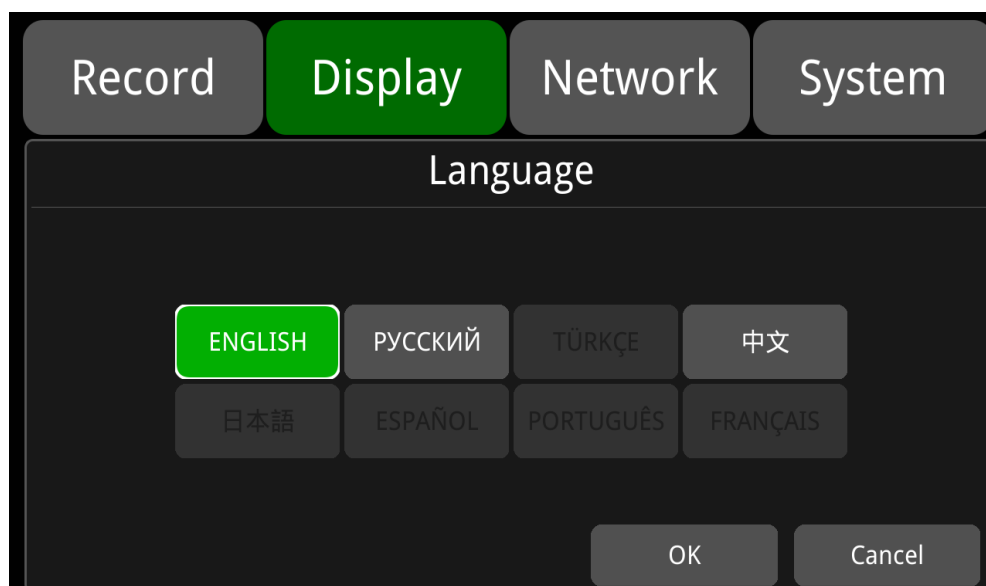
各チャンネルの下部にカメラ名が表示されます。メニューの「Display->Camera Name->Cam*」をタッチすると、キーボードがポップアップして新しいカメラ名を入力します。最大 8 文字まで入力できます。カメラ名は空白にできません。デフォルトの設定は次のとおりです。



9.3 システム言語の設定



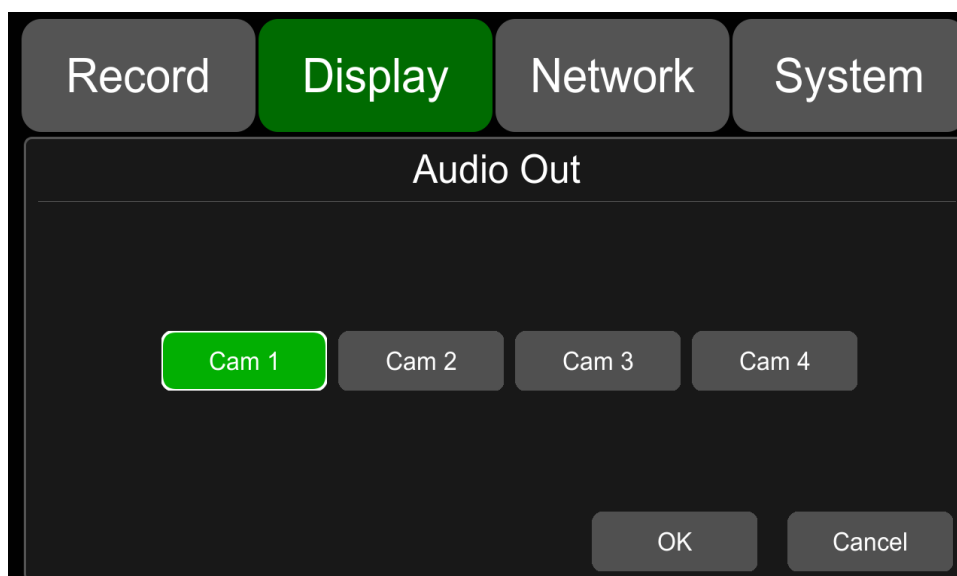
メニュー言語:日本語、英語、ロシア語、中国語のみが使用可能です。デフォルトの言語は英語です。



9.4 オーディオ出力



オーディオ出力:マルチディスプレイモードでオーディオ出力チャンネルを選択します。デフォルト設定は以下のとおりです。



9.5 OSD ディスプレイ



時間、カメラ名、ライセンスナンバー、速度を表示するかしないかを選択できます。オンにすると、ライブ映像と再生映像に情報が表示されます。デフォルトの設定は次のとおりです。

Category	Value
Time	On
Camera Name	On
License No.	On
Speed	Off

9.6 メニュー



メニューの表示時間を設定します。デフォルトの設定は次のとおりです。

Category	Value
Menu On	30s
Menu Lock	On

Menu On: メニューオン継続時間は、30 秒、60 秒、120 秒、および常時に設定できます。30 秒、60 秒、または 120 秒に設定すると、つまりメニューを開いた後、30 秒、60 秒、または 120 秒で操作がない場合、メニューは非表示になります。常時に設定すると、メニューは常に開いたままになります。

メニューをオンにすると、録画は停止します。録画に影響しないようにするために、継続時間を [常時] に設定することはお勧めしません。

Menu lock:

On: オンの場合、メニューに入るには許可が必要です。

Off: オフの場合は、メニューに入るための許可は必要ありません。

メニューロックのステータスを変更するには、ユーザー名「admin」と対応するパスワードが必要です。

9.7 スピード



スピード設定: オーバースピード情報は GPS(ソース)から取得されます。速度単位はオプションです: Km/h または マイル/h。オーバースピードしきい値はユーザーが設定できます。継続時間はオーバースピード警報時間です。速度は現在の車両速度を意味します。速度が継続時間より長い時間オーバースピード値を超え続ける場合、モニターはオーバースピード警報記録をトリガーします。

アラームスイッチは、速度超過アラームの記録状態を設定します。ON の場合、速度超過イベントが発生したときに速度超過アラームの記録が開始されます。OFF の場合、速度超過アラームの記録は開始されません。

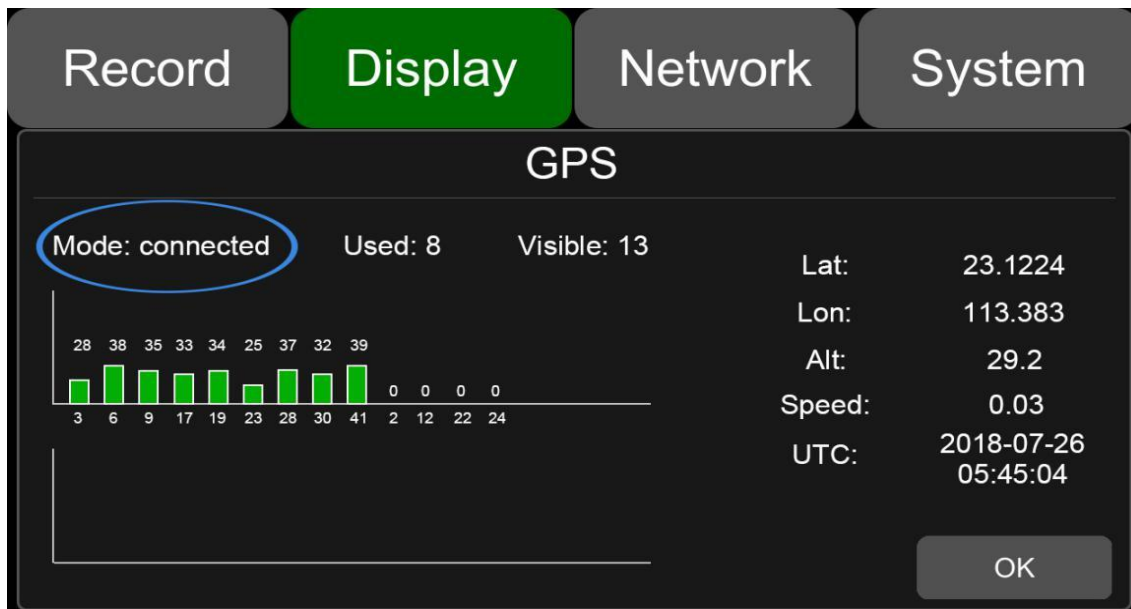
各項目のデフォルト設定は次のとおりです。

オーバースピード	最小	最大	初期設定
Km/h	0	200	120
Mile/h	0	125	75

9.8 GPS



GPS: GPS アンテナが正しく取り付けられると、速度情報がファイルに記録されます。メニューには、緯度、経度、検出可能な衛星、アクセス可能な衛星などの GPS 情報が表示されます。



Mode: GPS 接続状態

Used: 利用可能な衛星の数

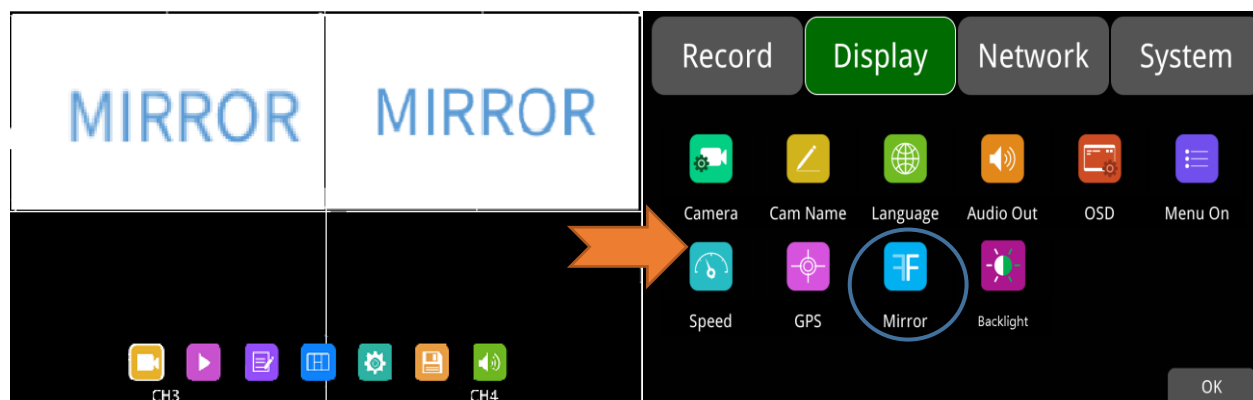
Visible: 検索可能な衛星の数

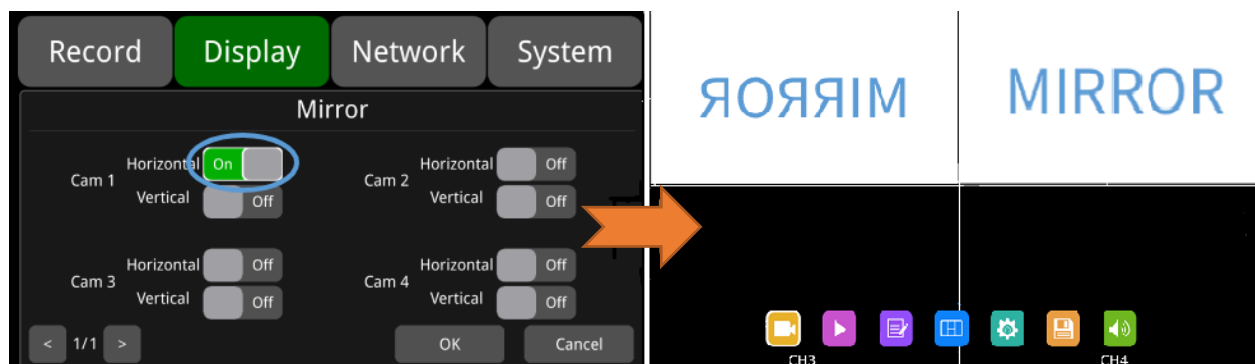
9.9 反転機能



すべてのチャンネルの水平および垂直反転は、デフォルトでオフになっています。

Horizontal: ONに設定すると、該当する記録チャンネルが水平に反転します。OFFに設定すると、反転しません。以下に設定手順を示します。

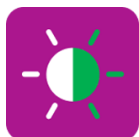




Vertical: ONに設定すると、該当する記録チャンネルが垂直に反転します。OFFに設定すると、反転しません。以下に設定手順を示します。

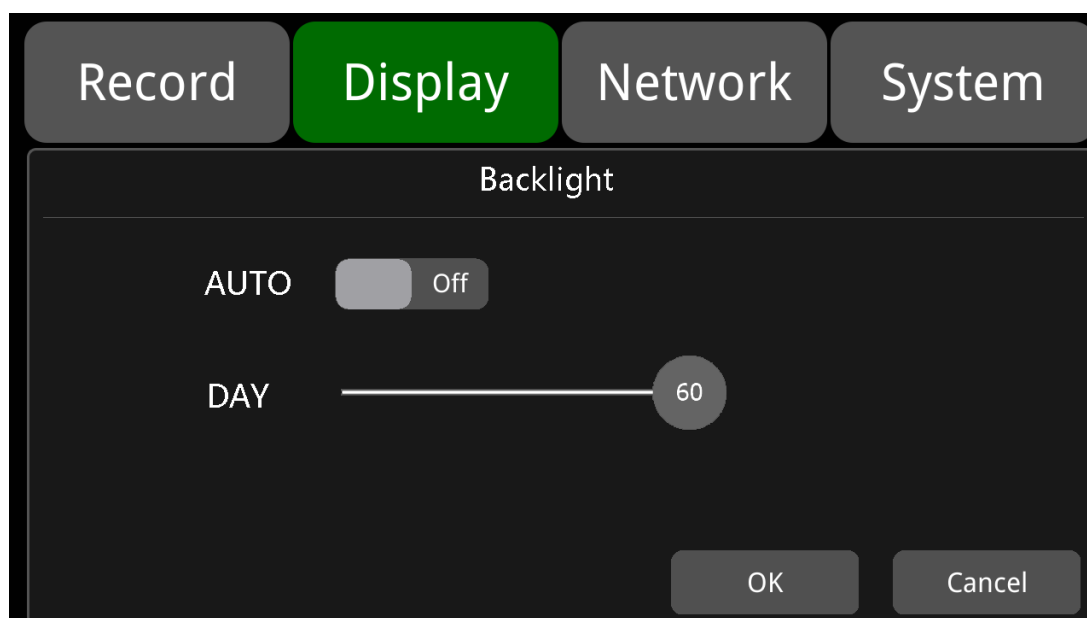


9.10 バックライト

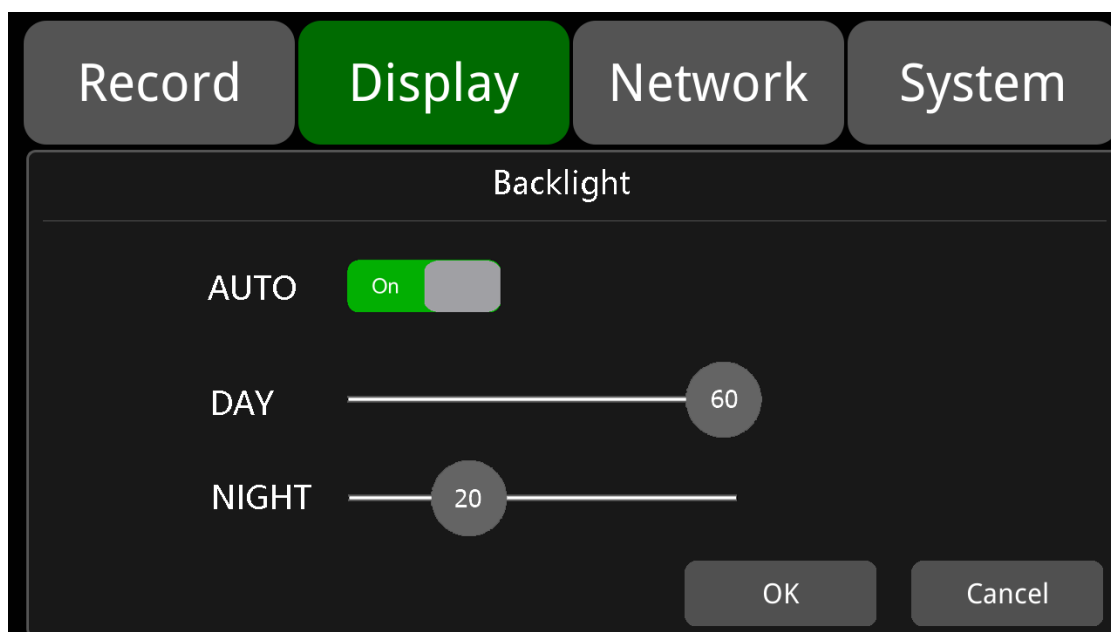


バックライトの調整: モニターのバックライトの輝度を調整します。

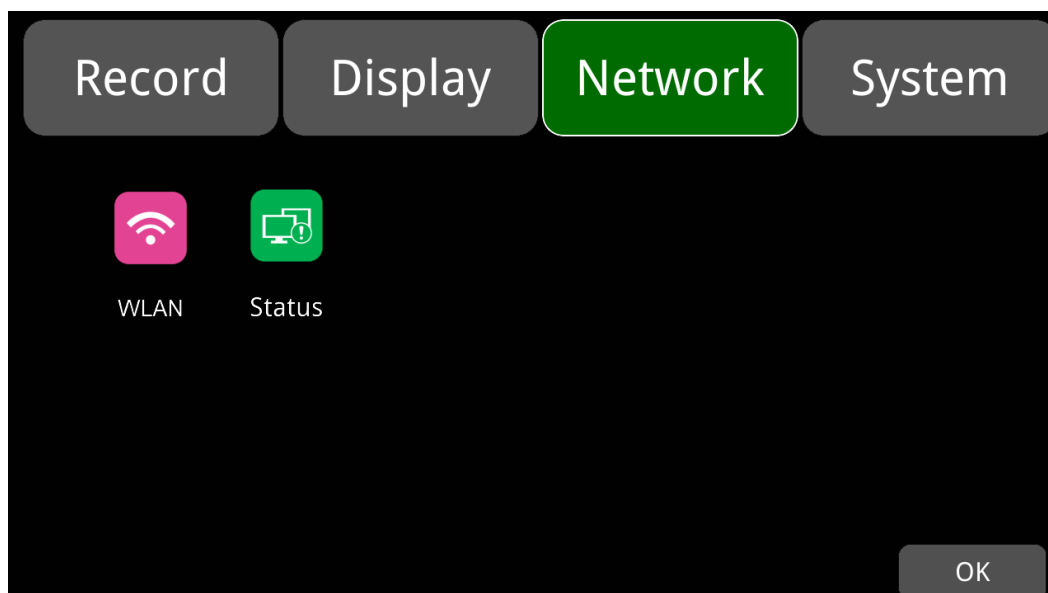
- AUTO を OFF に設定すると、DAY バックライトのみ調整できます。



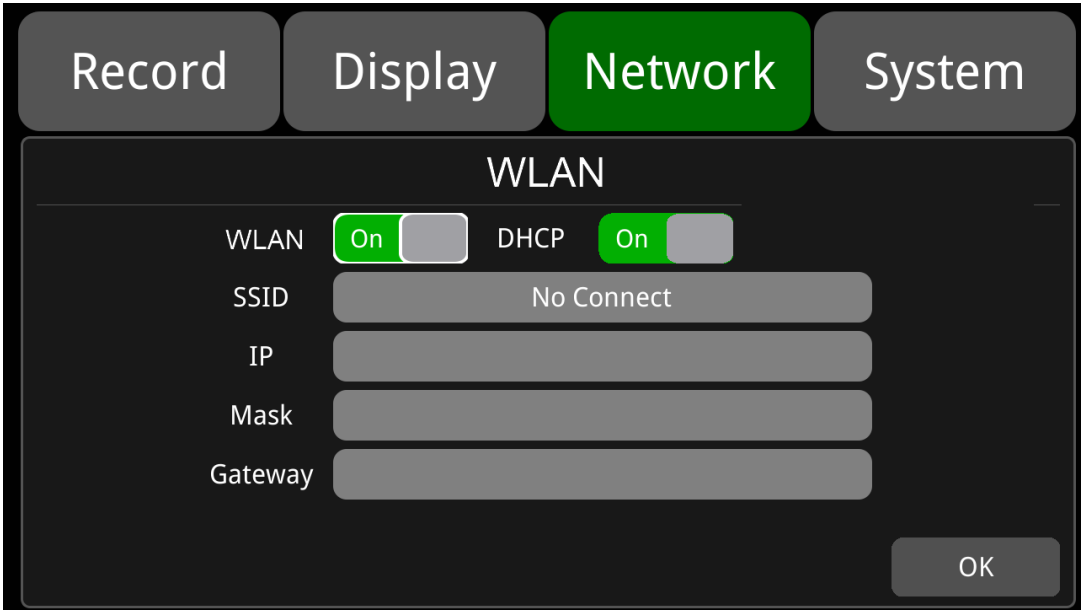
- AUTO を ON に設定すると、DAY と NIGHT の両方のバックライトを調整できます。モニターは、周囲の光に基づいてバックライトの明るさを自動的に調整します。環境が明るいときはモニターのバックライトは DAY に設定され、暗いときは NIGHT に設定されます。



10. ネットワーク



10.1 WLAN ネットワーク設定



The screenshot shows the 'Network' tab of a device's settings. The 'WLAN' section has a toggle switch set to 'On'. Below it, the 'DHCP' toggle is also 'On'. The 'SSID' field shows 'No Connect'. The 'IP', 'Mask', and 'Gateway' fields are empty. An 'OK' button is at the bottom right.

Record	Display	Network	System
WLAN			
WLAN	On	DHCP	On
SSID	No Connect		
IP			
Mask			
Gateway			
OK			

WLAN: WLAN の ON/OFF ステータス。

DHCP: 動的ホスト構成プロトコル。動的 IP の場合はオン、静的 IP の場合はオフに設定します。静的 IP には、IP アドレス、マスク、およびゲートウェイを入力する必要があります。

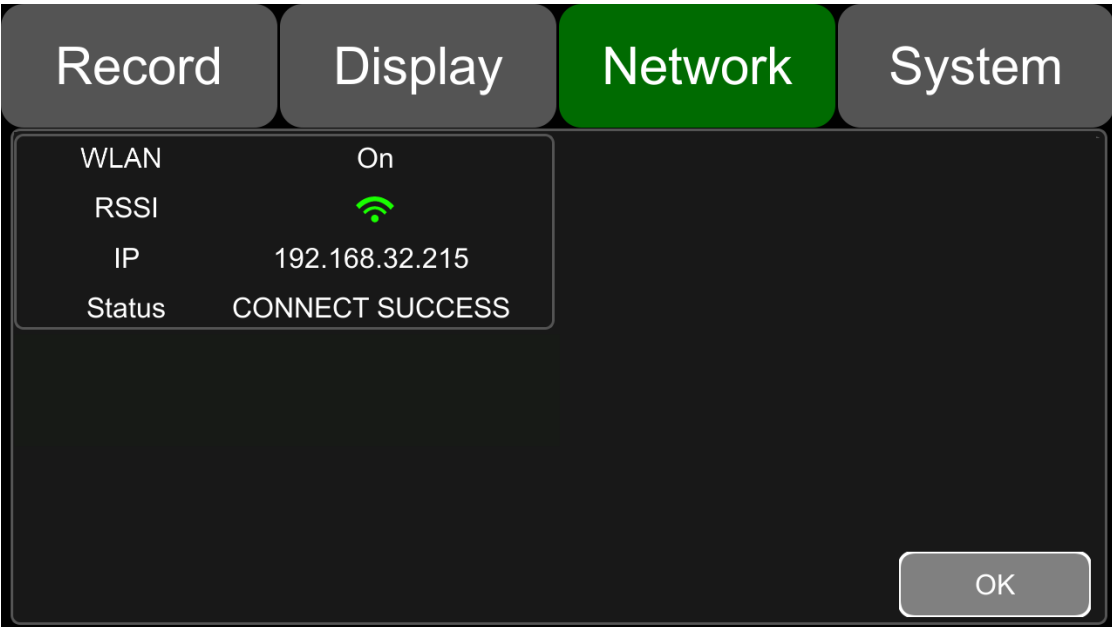
SSID: クリックすると、使用可能な WLAN ネットワークが表示されます。WLAN ネットワークをクリックし、正しいパスワードを入力して WLAN に接続します。

10.2 ネットワークの状態



Network status: ユーザーは、ローカル有線ネットワーク IP アドレス、MAC アドレス、WLAN ネットワーク接続ステータス、WLAN IP アドレス、WLAN 信号強度などの情報を表示できます。

さらに、ユーザーはネットワーク接続が成功したかどうかを確認できます。



The screenshot shows the 'Network' tab of a device's settings. The 'WLAN' section shows 'On' with a green signal strength icon. The 'IP' field shows '192.168.32.215'. The 'Status' field shows 'CONNECT SUCCESS'. An 'OK' button is at the bottom right.

Record	Display	Network	System
WLAN	On		
RSSI			
IP	192.168.32.215		
Status	CONNECT SUCCESS		
OK			

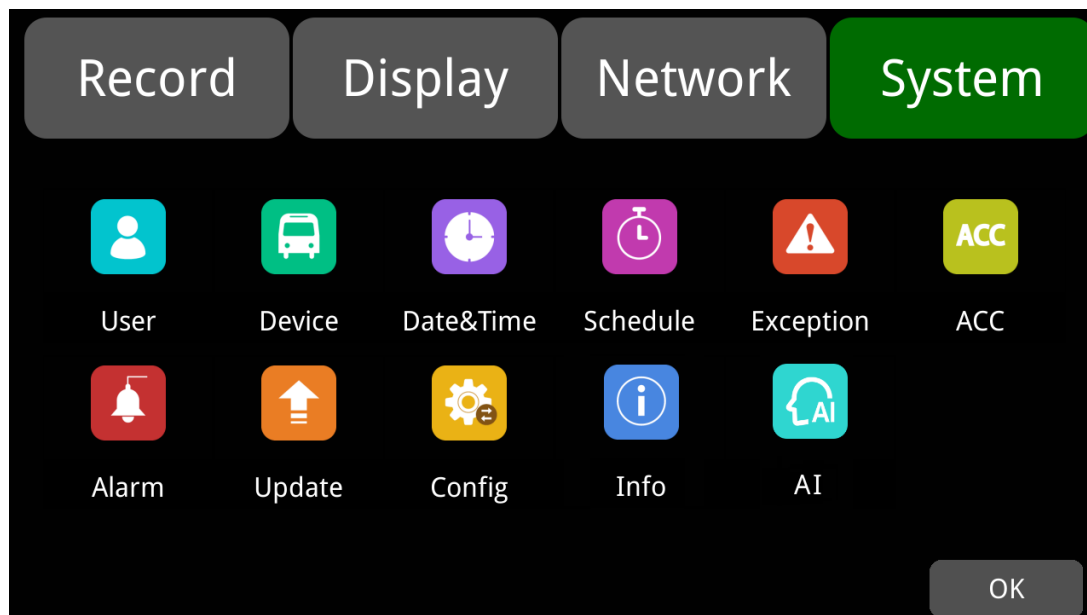
WLAN: WLAN ON/OFF ステータス。

WLAN RSSI: WLAN 信号強度。

WLAN IP: WLANI の IP アドレス。

WLAN Status: WLAN 接続ステータス。

11. システム



11.1 ログイン設定



メニューを入力するためのユーザー名とパスワードを設定します。
初期パスワードは 123 です。

The screenshot shows a form titled 'User' within the 'System' menu. The form has four input fields: 'Username' (with 'admin' entered), 'Password', 'New Password', and 'Confirm Password'. At the bottom right, there are 'OK' and 'Cancel' buttons.

11.2 ライセンスプレート番号



License No.: ナンバープレートの番号を入力します。初期設定は以下のとおりです。

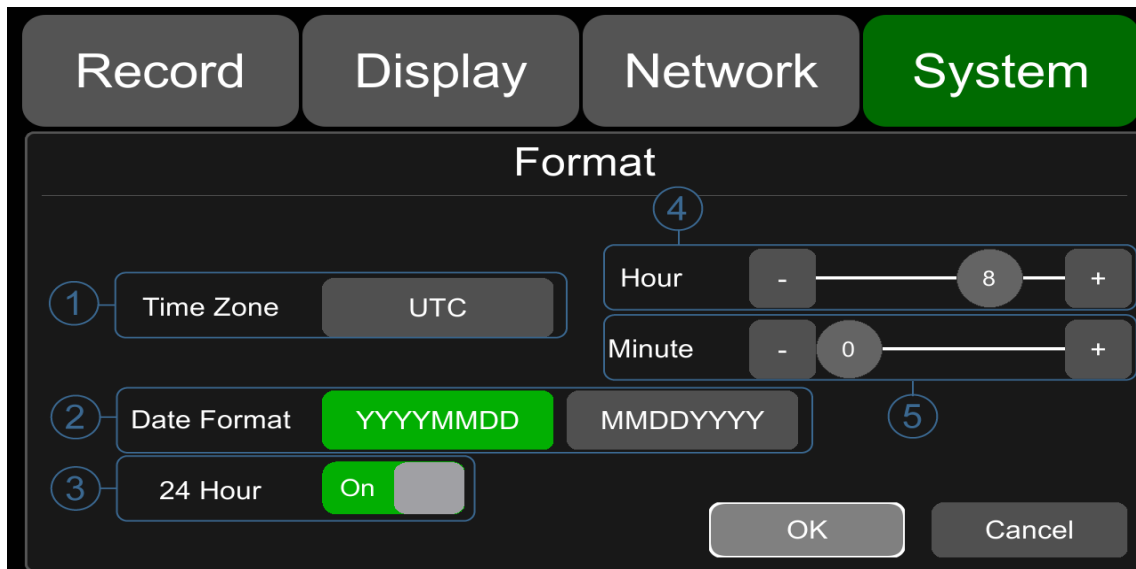
The screenshot shows a menu with four tabs: 'Record', 'Display', 'Network', and 'System' (highlighted in green). Below the tabs is a section titled 'Device'. Inside this section, there is a label 'License No.' followed by a text input field containing 'AAAAAA'. At the bottom right of the 'Device' section are two buttons: 'OK' and 'Cancel'.

11.3 システムの時計設定



Format Setup: システム時刻形式の設定。

The screenshot shows a menu with four tabs: 'Record', 'Display', 'Network', and 'System' (highlighted in green). Below the tabs is a section titled 'Dates&Time'. This section contains several settings and a numeric keypad. The settings are arranged in rows: 'Date' with fields for 'Year' (2018), 'Month' (06), and 'Day' (21); 'Time' with fields for 'Hour' (11), 'Minute' (17), and 'Second' (38); 'Format' with a 'Setup' button (circled in blue) and a 'Time Sync' button; and 'DST' with a 'Setup' button. To the right of these settings is a numeric keypad with buttons for digits 1-9, 0, and a 'Del' button. At the bottom right of the 'Dates&Time' section are two buttons: 'OK' and 'Cancel'.

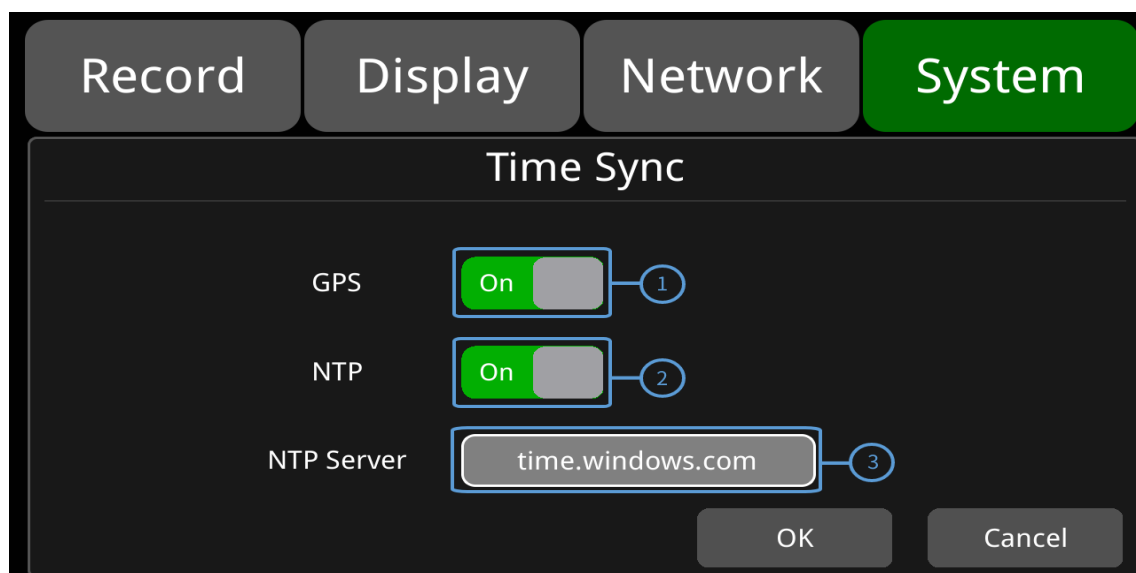


「Format」のデフォルト設定は上記のとおりです。

「System->Date&Time->Format->Setup」ページに移動します。

- ① **Time Zone:** タイムゾーン設定
- ② **Date Format:** 日付形式の設定。
- ③ **24 Hour:** ONのときは24時間表示、OFFのときは12時間表示になります。
- ④ & ⑤ **Hour & Minute:** タイムゾーンの設定は分単位で正確です。

時間 / 分	最小	最大	初期設定
時間	-12	14	8
分	0	59	0



「Time Sync」のデフォルト設定は上記のとおりです。

時間同期の設定:

「System->Date&Time->Time Sync->Setup」ページに移動します。

- ① **GPS:** GPSをON/OFFに設定します。
- ② **NTP:** NTPをON/OFFに設定します。
- ③ **NTP Server:** NTP サーバの URL を表示します。

アプリケーションシーン	使用方法
GPS: OFF and NTP: OFF	最初にタイムゾーンと夏時間(DST)を設定し、次に日付と時刻を設定します。
GPS: ON or NTP: ON	タイムゾーンと夏時間(DST)を設定する必要があります。日付と時刻を設定する必要はありません。

注:「Time Sync」->「GPS」または「Time Sync」->「NTP」がオンの場合は、タイムゾーンと夏時間を設定する必要があります。タイムゾーンが設定されていない場合、GPSとNTPはシステム時刻をデフォルトのEast 8ゾーン時刻に変更します。これにより、デバイスの時刻が不正確になる可能性があります。

上記の「DST」のデフォルト設定

「System->Date&Time->DST-Setup」ページに移動します。

- ① **Enable:** DST設定をON/OFFに設定します。
- ② **Offset:** DSTを有効にした後、オフセットを調整します。
- ③ **Mode:** DSTのモードを選択します(週末または日付に従ってDSTを設定します)。
- ④ **Start time:** DSTの開始時刻を設定します。
- ⑤ **End time:** DST の終了時刻を設定します。

11.4 予約録画



Record	Display	Network	System	
Schedule				
	Enable	Start	End	Weekday
Schedule 1	☐ Off	00:00	01:40	Setup
Schedule 2	☐ Off	00:00	01:40	Setup
Schedule 3	☐ Off	00:00	01:40	Setup
Schedule 4	☐ Off	00:00	01:40	Setup
				OK Cancel

デフォルトの設定は上記のとおりです。

Enable: 予約録画のON/OFFを設定します。

Start: 予約録画の開始時刻を設定します。

End: 録画予約の終了時刻を設定します。

Weekday: 録画予約を曜日ごとに設定します。録画予約する曜日を選択します。

予約録画:

- 最大 4 つの指定タスクをサポートします。録音時間は分単位でカウントされます。
- 録音時間は重複することがあります。
- 予約録画の開始時刻は、終了時刻より前に設定する必要があります。

11.5 例外



モニターの記録状態を調べる時に使用します。

モニターが正常な録画映像を生成しない場合、ブザーが警報を発します。警報を停止するには、モニターが録画しているかどうかを確認してください。

ブザーアラーム機能は以下のように動作します。

- トリガー以外のすべてのタイプの録音で、ブザーが長く鳴ります。
- ブザーを鳴らさない場合は、「システム」->「例外」ページでブザーを「ON」から「OFF」に設定します。ブザーを「OFF」に設定すると、正常な録音がない場合は鳴らなくなりますが、本機能はトリガーイベントの音には影響しませんのでご注意ください。



次に示すように、異なるビープ音モードは異なる動作状態を表します。

ブザーが断続的に鳴る場合は、モニターが録音していないことを示します。

- 1) SD カードなし:長いビープ音 1 回+短いビープ音 2 回。
- 2) SD カードファイルシステムのバグ:長いビープ音が 1 回+短いビープ音が 3 回
- 3) SD カードが正常で、録音ファイルがいっぱいで、録音オーバーレイが開かれていない場合:短いビープ音が 2 回+短いビープ音が 1 回;
- 4) カメラ入力なし:短いビープ音 2 回+短いビープ音 2 回
- 5) SD カードは正常だが、モニターが録画していない場合:短いビープ音が 2 回+短いビープ音が 3 回。

11.6 ACC



Record Display Network **System**

ACC

Current Voltage V

Shutdown Voltage V

ACC Duration min s

OK Cancel

「Shutdown Voltage」と「ACC Duration」のデフォルト設定は上記のとおりです。

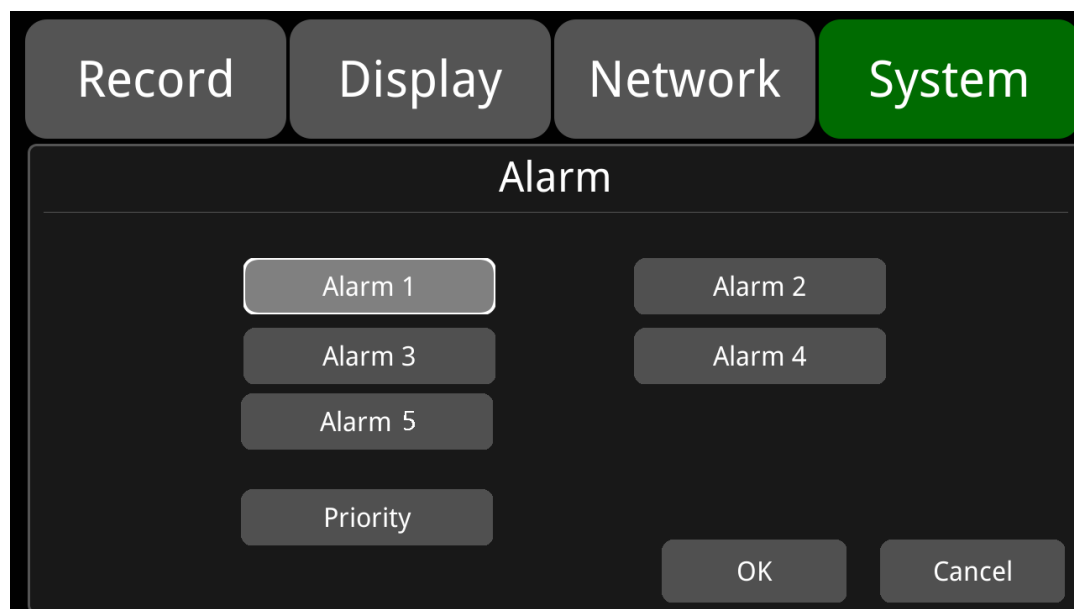
Current voltage: モニターの動作電圧。

Shutdown voltage: 電流または電圧がシャットダウン電圧より低い場合、デバイスは自動的にシャットダウンします。

ACC Duration: ACCが切断された後、デバイスはしばらくの間記録を継続します。ACC継続時間は5秒～60分に設定できます。

ACC	最小	最大	初期設定
Shutdown Voltage(V)	9	24	10
ACC Duration(s)	5	3600	5

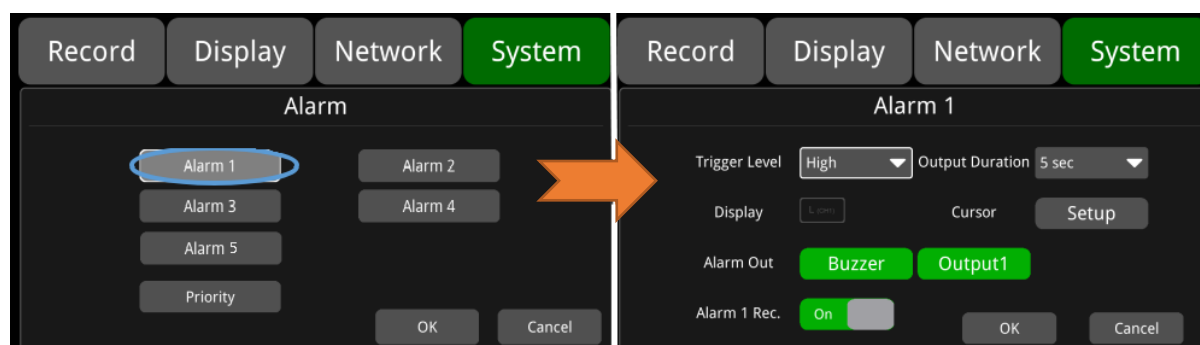
11.7 アラーム



Alarm 1 ~ Alarm 5: カスタマイズされたアラーム記録。

Priority: アラーム1~5の優先順位を設定します。

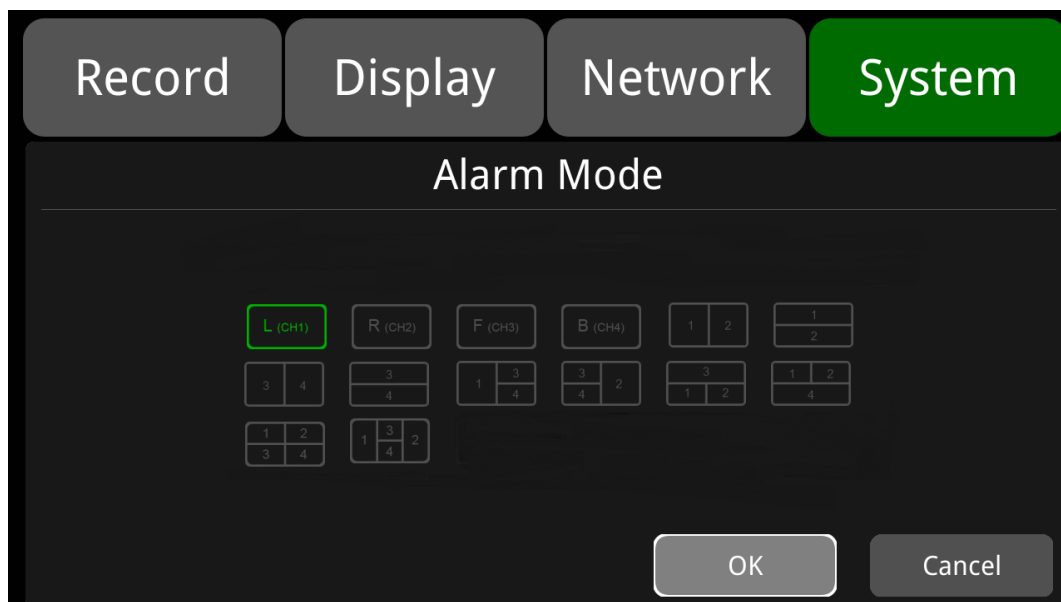
異なるタイプのアラームが同時にトリガーされた場合、優先順位が最も高いアラームが最初に動作します。



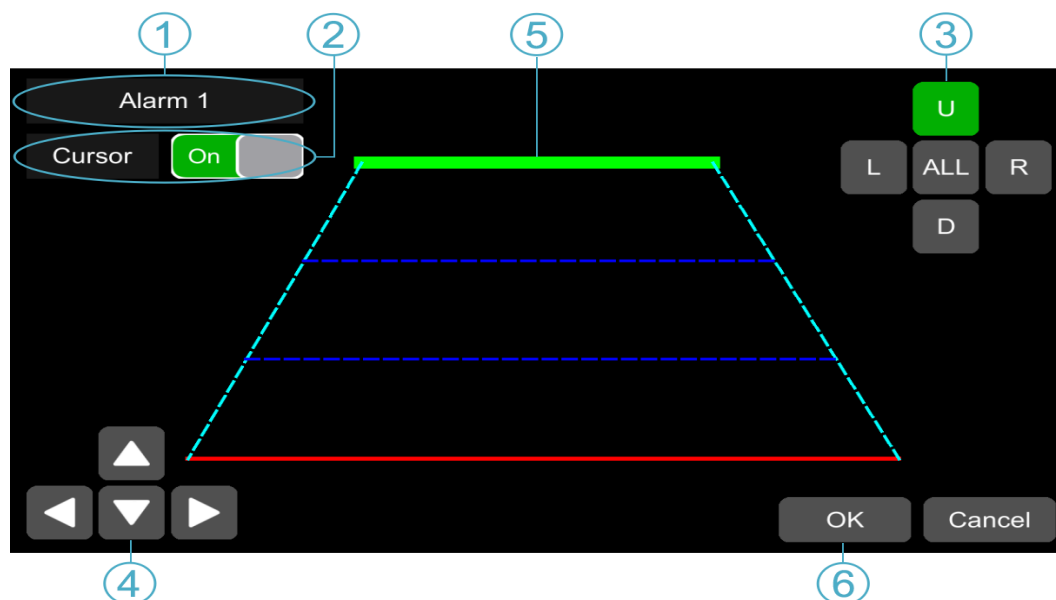
“Alarm 1” デフォルト設定は上記のとおりです。

- **Trigger Level:** トリガーレベルには3つのオプションがあります。「低」と「高」のオプションはアラーム機能をオンにするためのものです。「低」は通常デバッグ用に使用され、「高」はオンロード用のアラーム機能を有効にするために設定されます。「オフ」はトリガーアラーム機能を無効にするために設定されます。
- **Output Duration:** 「表示」「カーソル」「アラームアウト」効果の継続時間。出力継続時間はオプション:0秒、5秒、10秒、30秒、60秒、5分、10分、30分、60分、常時。
- **Alarm Out-Buzzer:** アラーム出力ブザーのON/OFFを切り替えます。デフォルトのアラーム時間は5秒です。

- **Alarm Out-Output I**: ONにすると、出力 I の警報線から 12 Vレベルの出力が出ます。
- **Alarm I Rec.:** Alarm I イベント記録スイッチの場合、記録時間は [System]->[Record]->[Event Duration] で設定します。
- **Display:** アラームがトリガーされると、選択したスプリットモードが表示されます。使用可能なスプリットモードを次の図に示します。

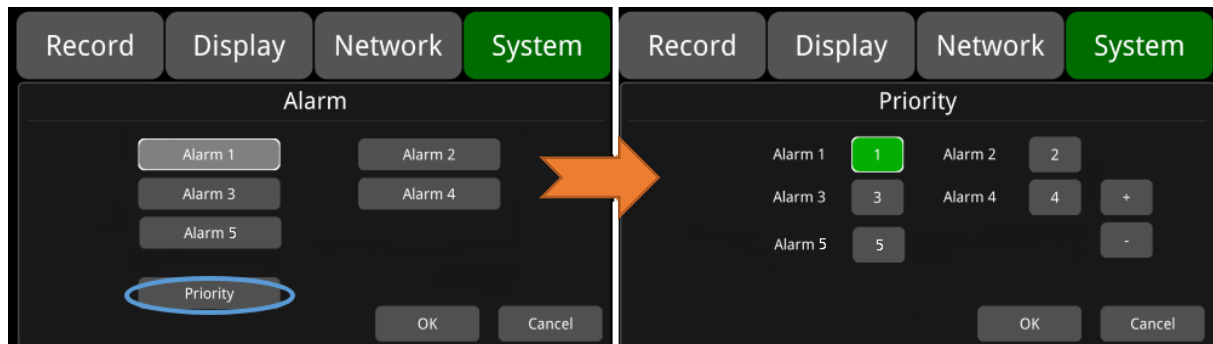


- **Cursor:** デフォルトでは「OFF」です。下の図は「ON」状態を示しています。



- ① アラームの種類
- ② タッチするとカーソルのオン/オフが切り替わります。
- ③ ライン選択: ラインU(上)、ラインD(下)、ラインL(左)、ラインR(右)、ALL。緑は選択中を意味します。リモコン操作が可能です。
- ④ 上下左右の4方向をクリックして、カーソルの形を調整します。移動は、選択した線にのみ影響します。
- ⑤ カーソルの線: 選択した線は3倍に太くなります。中央の2本の線は太くなりません。
- ⑥ 「OK」をタッチすると設定を保存して終了します。「キャンセル」をタッチすると設定を保存せずに終了します。

- **Priority:** デフォルト設定は次のとおりです。



:トリガーの優先順位を下げるには、+ をタッチします。値が大きいほど、優先順位は低くなります。



: タッチすると、トリガーの優先順位が上がります。値が小さいほど、優先順位は高くなります。

- 優先順位の高いアラームが最初にトリガーされます。
- 1は最も高い優先順位を表し、5は最も低い優先順位を表します。
- AとBの2つのアラームが同時にトリガーされ、Aの優先順位がBよりも高い場合、Aが最初に記録されます。Aが記録を終了した後、Bがまだトリガーされている場合は、Bがその時点で記録されます。Bがトリガーされなくなった場合は、記録されません。
- アラームBが発生して録音された後に、Bよりも優先順位の高いアラームAが発生した場合、アラームBの録音は停止しません。

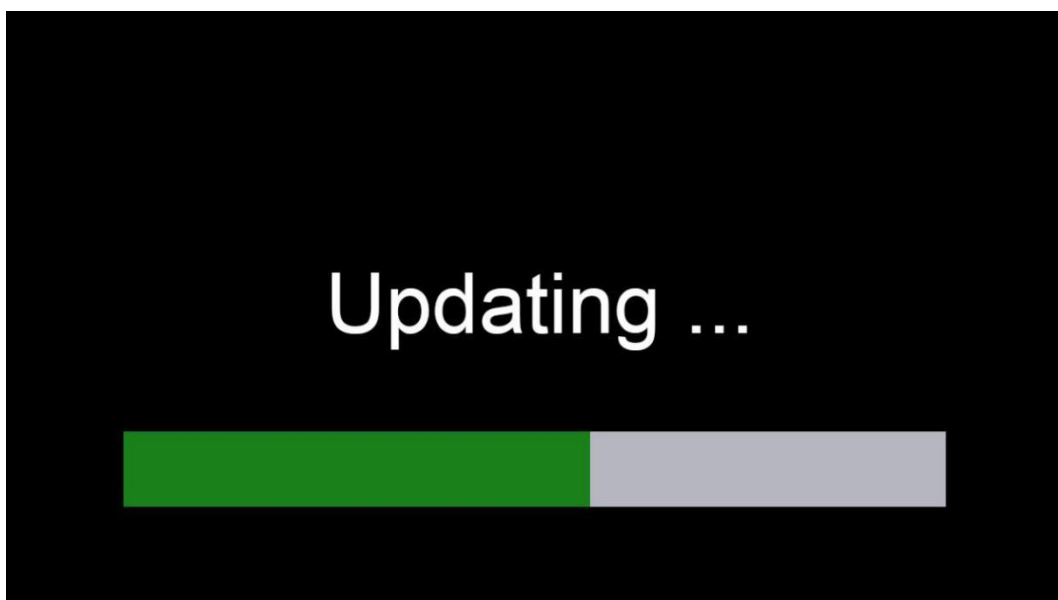
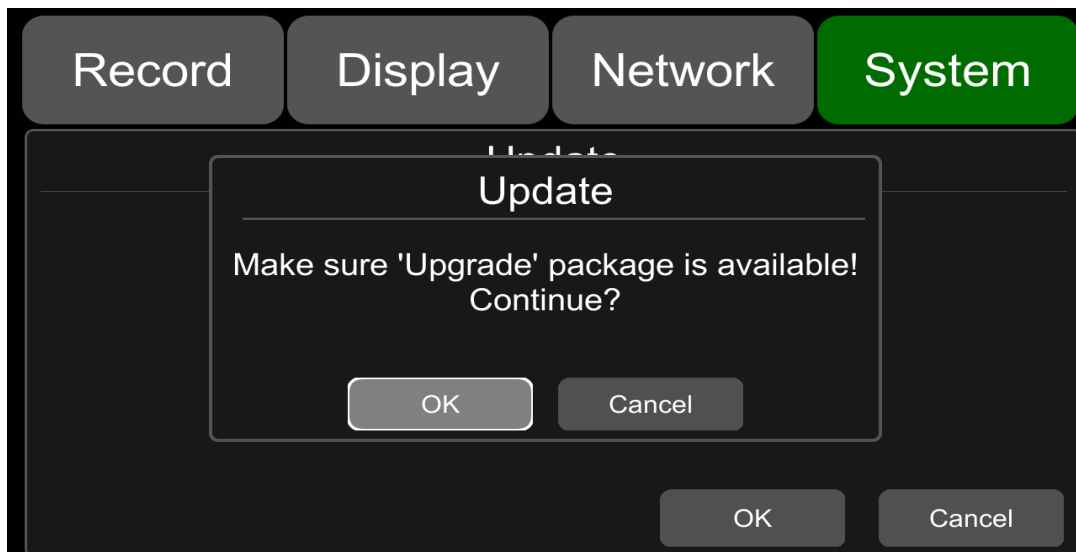
11.8 アップデート



- 単一デバイスの場合

ステップ1: ファイルをSDカード/`upgrade/package/local`ディレクトリにコピーし、SDカードをモニターに挿入します。

ステップ2: モニターの電源を切って再起動すると、自動的にアップグレードされます。または、[メニュー]->[システム]->[アップデート]->[ソフトウェア]に移動し、[OK]をタッチしてアップデートを確認します。どちらの方法でもアップグレードプロセスを続行できます。



Step 3: ディスプレイに「Update success!」と表示されると、デバイスは自動的に再起動します。



Update success!

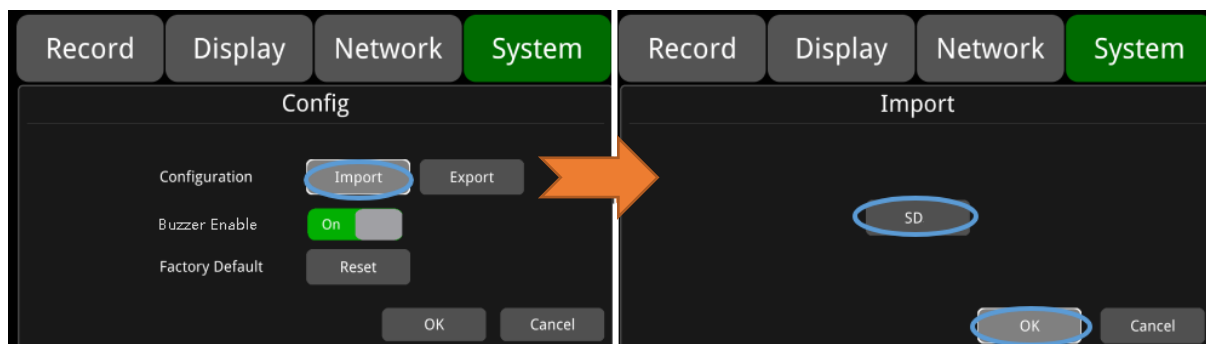
Step 4: 再起動後、「アップグレード」フォルダにコピーしたバージョンと同じかどうかを確認してください。
指示:メニュー->システム->情報。

注:アップグレードが完了すると、SD card/upgrade/packet/localディレクトリ内のアップグレードパッケージの名前が「old_update_packet」に変更されます。

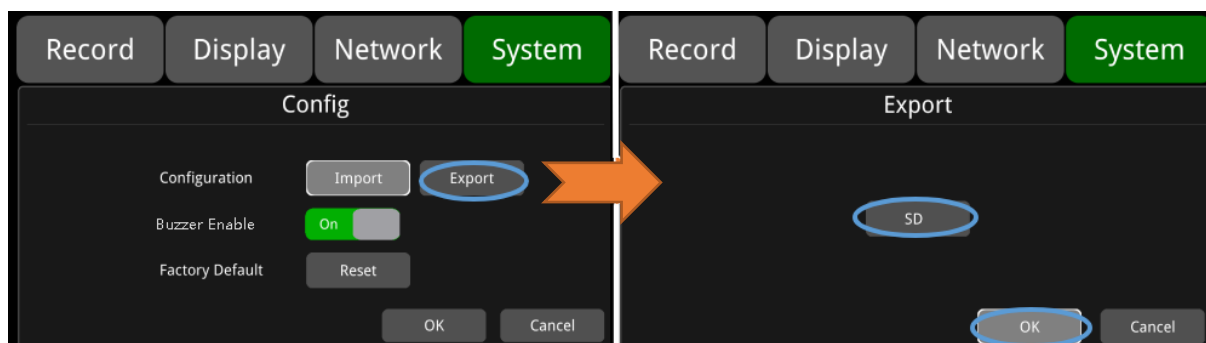
11.9 構成



Configuration Import: フラッシュメモリデバイスからコンフィギュレーション情報をインポートし、コンフィギュレーションファイルを「sd/export_file/config」ディレクトリに配置します。



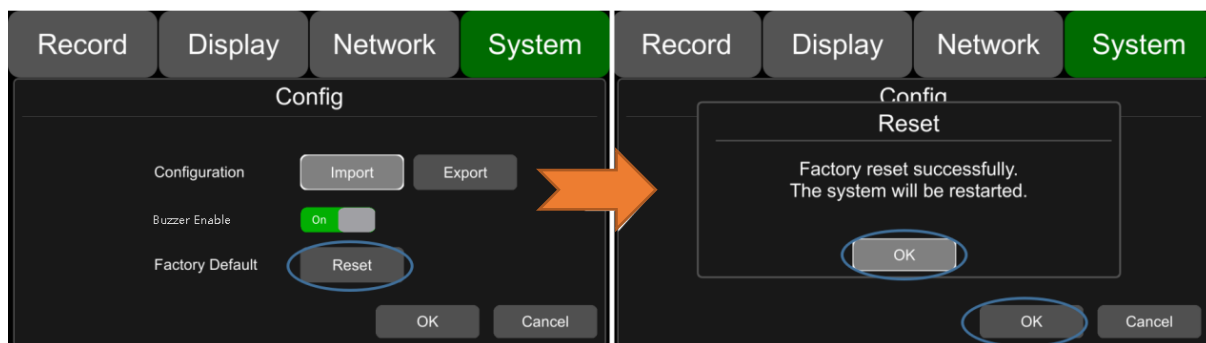
- **Configuration export:** フラッシュデバイスに設定情報をエクスポートします。



- **Buzzer Enable:** オンにすると、タッチスクリーン操作があり、デバイスがリモコン要求に応答しているときにブザーが鳴ります。



- **Factory Default:** 工場出荷時の設定に戻すには、「リセット」を押します。



11.10 システムインフォメーション



System information: ソフトバージョン

Record

Display

Network

System

Info

SYS Version: HQ10-00-V10-20230101

OK

11.11 AI



AI: デバイスに組み込まれた AI 機能は、4 つの独立した BSD アルゴリズム機能をサポートし、各方法に独立したスイッチがあり、検出領域は調整可能で、危険レベル領域も調整可能である。

Record

Display

Network

System

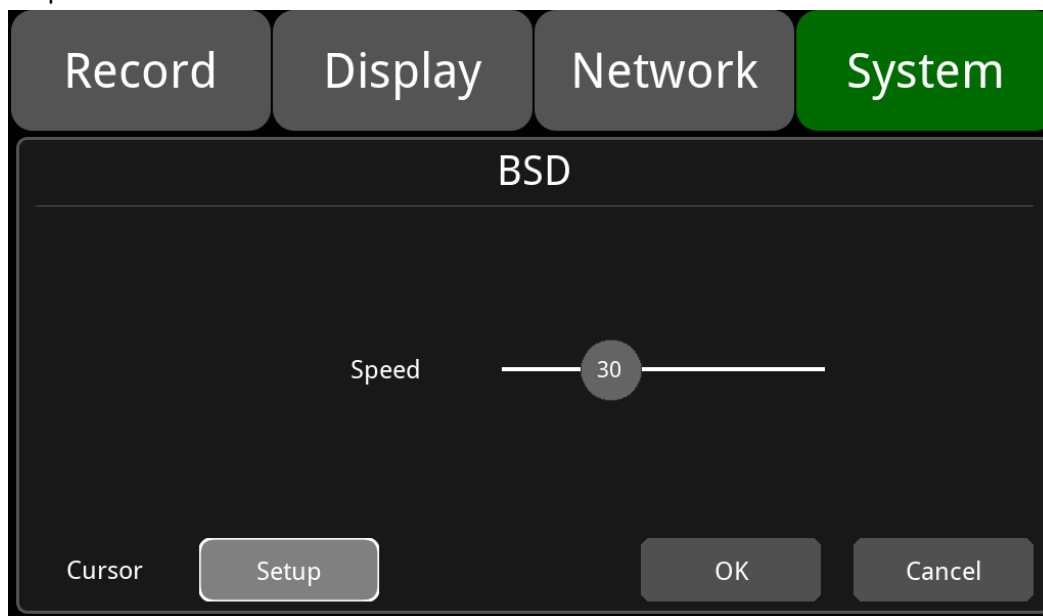
Alg Configure

CH1	BSD	Setup
CH2	BSD	
CH3	BSD	
CH4	BSD	

OK

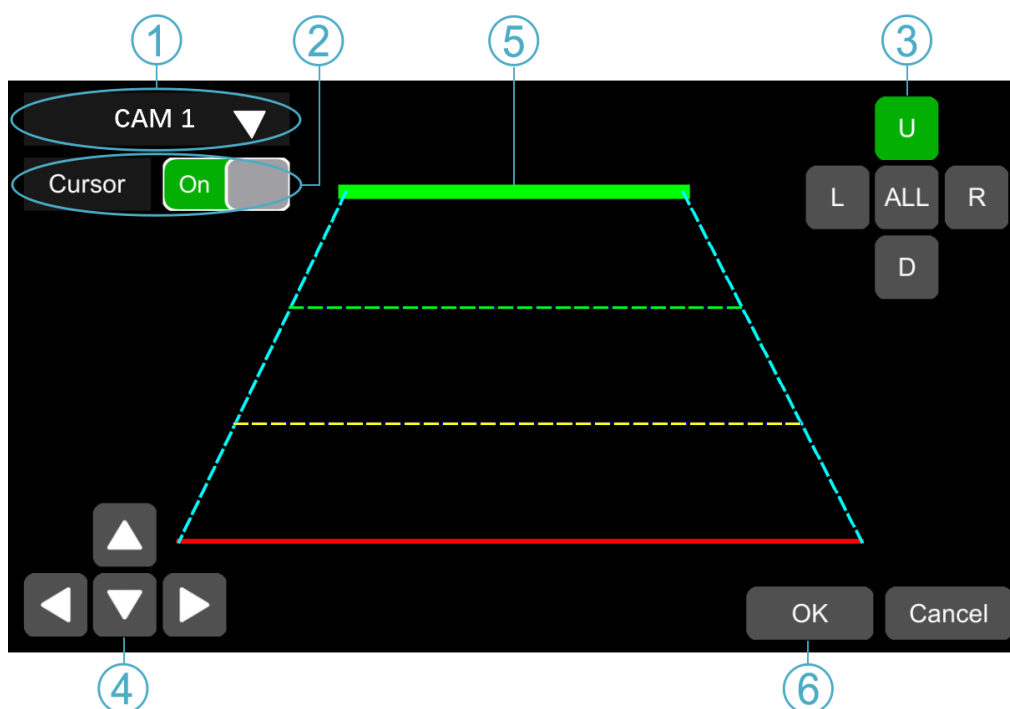
Cancel

- BSD ボタン:[OK]をクリックして、対応するチャンネルの BSD 機能をオンまたはオフにします。この操作により、このモニターが再起動されます。
- Setup ボタン:セットアップページに移動



speed: この速度値は BSD 関数警告のしきい値です。GPS によって取得された車両速度がこの値より高い場合、別の危険領域の BSD 警告オーディオが機能します。この値が 0 に設定されている場合、警告オーディオも機能します。

Cursor Setup: カーソル設定ページをクリックする



- ①対応するカメラチャンネル
- ②タッチするとカーソルのオン/オフが切り替わります。
- ③ライン選択:ライン U(上)、ライン D(下)、ライン L(左)、ライン R(右)、ALL。緑は選択中を意味します。リモコン操作が可能です。
- ④上下左右の4方向をクリックして、カーソルの形を調整します。
移動は、選択した線にのみ影響します。
- ⑤カーソルの線:選択した線は3倍に太くなります。中央の2本の線は太くなりません。
- ⑥「OK」をタッチすると設定を保存して終了します。「キャンセル」をタッチすると設定を保存せずに終了します。

付録:よくある質問と回答

1) システムの電源が入らない

電源の接続を確認します。電源の接続を確認するには、次の手順に従ってください。

- ①電源入力の確認:電源コードが正しく接続されているか、アース線が正しく接続されているか、電源コードのヒューズが破損していないか。
- ②ACC 信号線の電圧が6Vを超えていないか確認する。

2) モニターは繰り返し再起動しますか?

次の手順に従って確認してください。

- ①モニターの電源電圧が不足していないか確認してください。デバイスの起動電圧より低い場合、デバイスは繰り返し起動します。
- ②モニターを再起動して、今度は正常に機能するかどうかを確認します。

3) ストレージ・デバイスを認識できない

- ①ストレージ・デバイス自体が良好な状態にあるかどうかを確認し、正常に設置され、良好な接触状態にあることを確認する。
- ②モニターを再起動して、今度は正常に機能するかどうかを確認します。

4) カメラを認識できない?

- ①カメラが正常に接続されていることを確認します。
- ②認識されないカメラとデバイスの再配線。
- ③モニターを再起動して、今度は正常に機能するかどうかを確認します。

5) GPS 異常?

GPS アンテナが正しく取り付けられていることを確認します。